ルに甘原料理、質田養殖委成で組かれた送られる人は居水学所、平

異動の人々を送る一座異動と見喚知事

する好態の表明と見彼し四日次のし、これにより時間政府の内政不 革命軍の本機スータに深込み、事幣技の訪問を見て明に革命軍に對 との豪遊はロンドン外交郭を到戦 鉄ドイッチエランド繋がスペイン

【パリ四日同盟】ドイツ海軍の精

|で眠避を前し賦景を入手するまで||の不妊に難戻してゐるが、四日安記で皆る。但し些固默所は過くま||並にフランス武脈は愕然大戦前夜|||円波提識を合理化するに至つたと|||総単と類りに交觸してゐるとの服

なる能療的筋間に過ぎぬといはれ に宣つて意見を遂げた、原見は取の認可令フランス將軍を訪問時献

野校がスペイン革命軍器司令官で

世以下来組將校は直に上陸革命軍 翌は三日午前スータ港に投錨、艦

主力艦ドイツチエランド號外一

忠徴と解釋する

倫敦外交界

海を出館マルタ駅を巡田して経送。を監督することに決した。 数氏を收答四日午後ジブラルタル | 不式沙漫廳に對し腕別としてこれ 使べーク氏以下四百六十八名の謎 府はフランス政府のスペイン内記

戦前夜の不安に

戦慄する佛政府

好意の象徴と解釋

革命軍有力者語る

午後マドリッド除期ヴエネジエラ

を英が受諾決定

「細洋粒デウオンシャー跳は四日

「ジプラルタル四日同盟」 イギリ

英軍艦避難民收容

公使オチョラ氏、ノールウエー公 【ロンドン四日同盟】イギリス政

沙堤路に好感を持つに至ったこと

ンエリザベス競は四日午後ジブラ

リタル出述パルセロナ、

り美國政府は帰國政府の不刊 することとなつた、主力艦タイー

るが革命軍共有力者はドイダ海軍「ランコ將軍を訪問敬忌を表明した

れは奈内薩西としては遊伝上並統「雌ニュース通信連絡を如何にするの規則を簡に謝売釜行を回むに至っるのは参加世界五十億ヶ周の周に職・強に関し宛延りして、周蒙除職

あくまで既田、馬墨兩相を鞭一面目にかけても話外国より以上の

かが重大問題で観信省では我國の

信日本の名聲をあぐべく電粉、

一型かれてゐるものである、從つ 間田内閣が等内大將入閣當時の

等内陸相としては欺鄙を振しても張に化するに至つたものであり、

不事性を契機として不退極の主

質欲を期して居たもので、一・

内ゼスチュアーの観測を下してる 質相の強硬車中級を目して製用部 になってゐる、即ち一部では詩内

陸軍の三十億万外

総定の表明は今後同心地に按乗車 の必須性と関係情然を起便に詳細する系内腫類、思想難却の謝頼的 周報期日に對し関係所定能地脈行うる系内腫類、思想難却の謝頼の問題、因此所定を決して決策の緊急を反映して果然作曲」解膜重単数系統に第一内壁型は近く発棄の緊急を反映して異なります。

の必須生と國際情然を正確に詳細

馬坦蘇相に對し國防既定能遊脈行

【東京電話】政友館の安藤幹事長

に山崎猛氏

力能を明する部で、廣田首相

人性を示唆するものとして注目さ

ある、陸軍は脳田首相、馬場

首相に怠慢を警告か

新政策は依然店晒

荒井のお乳 電話龍山七三二

電本局一〇〇四

獨一制宣言

日報上京製造を申出でることとなる。 まずっく その名付におおきと思うつてをり、その後付としては小城 何今村橋大長町にも配川市長家社して平家農野長哲文書質と進退を てゐないので暫くが低するものとれてする方針であり、その後代と一見られる

| 「底上で壁壁へ下上で、五 現すべく、その後低は筋み省雕像 即ち中川台麓路管は八月十四、五 | を求めてゐるので、これ交近く寶 はかる方針で整備を辿めてある。

東位を棄物として規想受討に限退官の選送を行ひ、その人事関新を
超は電洋が重接式電社高性監査機

正式發令さる

銀田された大野隊一郎氏に對して

鐵道職員增加 品糕原右衛門

器中のため製田式を行はせら

任朝鮮總督

次郎

任朝鮮總督府

郎

依願冤本官(音通)

羽餅總督斯政務總監

母長高極原在衛門氏は日本人移民でリマ四日同盟」、ルロ本人意委 前限版に部化製止に関するベル大

祖図へ檄文

性を再認識せしめ、故國政府に 狀態とベルに於ける邦人の重要 、故國の額野に向け時局の緊迫 町し在留民保護に對する技術的

す意向のやうであるか味に於て重大進言をな意慢に關し警告する意

ら、國策上程配議を終くて等内

に至った(漫遊は寺内隍相) 座相の進退は極めて重大視される

統領令修正を埋して、祖國朝野に

の自合を開いてその實現に向

東京電話」数所は四日層部總督 | 大て林南澤美国については永田東に八月中に配定方針通り外地長 | 次に林南澤美国については永田東に入り、本本の大学、大家権限氏表形。 中旬ころ辭任

政府の外ドイツ、ボーラン!但し不干渉協約には英帰母!

圧吉は風を擦ばれたまくお裏に

鑑賞は藍の中へしまつておいて、一個最から融つて来るまでは、この

の約束の武操だよ。

あたしが

保

世繪

作

100

識にも手はつけさせないから、好

手を把られて、墨の目なりに次第

の回答を延受文第直にイタリー での回答を延受文第直にイタリー での回答を延受文第直にイタリー での回答を延受文第直にイタリー での声をしているでは、そもすれば範疇れ勝 であなれた。 でのかぬところから、前へ突出し でなんだねえ、そんだ腕なささら であた直は、そもすれば範疇れ勝 であるとしているであくれ」 を即へ出して御戦。——」 るるのだえ。ちよつとも心配する 正古、なんでそんなに怖がつてなって行つた。 ことはないから、

そんなに長かつたんかね。 いっぱは瞬前皮肉をいふと は観型も参ったでせらりと、上書は動へと話を探るやらに、あんなに永く鼓明された人でおくれ 回路に亘つて脱明した小川西相

「あゝさう。速くそこへ唇を附け「からいたすのでございますか。」

へはやりやしないよ。どうか安心なんと云はうと、決して家から外

A陽 空闘 ふ

頑張りの源泉

して、あたしの邸るまで待つてる

お人。たとへお父つあんや否頭が

「ほゝゝゝ、お削はあたし大事な

もつとずつと首

たくしは直ぐにお暇を出されてし 『もしもこのやうなことが、旦那

『もう好し、もう二寸ばかり前だ

住吉は突如として、

れど、あたしのるない留守中は、

効果を現す健腦丸です! 一 断然 頑張り更に利かぬ時 … 断然心身傷怠、頭腦朦朧! … 断然

頭を軽く爽かにする故、頭痛、逆上 第一に脳の充血を去り、昂奮を鎖め、

は一掃され、グッ

スリ眠られます

それから、諄くもいふやりだけ

「は、はい」

そのまた上手を越されしばしが ロッキーは第の後(期間は小川

猛烈な脚階を展開し、双方とも多び革命軍飛行機十数部入り組れて 著他の二機はスータに配置した炭ー 液成の後革命軍水上機二級は不時 大の擬唐を凝つたと解へられる、 鑑工の発売脚を配行すべく目下内 地に施行されてゐる錯過丁次許却 れでは動物要説の指制にも反 れる賠償は従来何等の經驗も持 立案を急ぐ 馬の生命

は従来の衝撃は一掃されることで

と

消化を挟けりの一般群第二に便通を快くし

を防ぐと共に、速に

N P

記憶力は増大し

気力を培ふ

時五十六分郡山র並任 「にも・こへ・もつとぎゆッと客を附げ」「でも・婆やさんがせるります」 正日本配來苑、向に八日午町十 そこへ・もつとぎゆッと客を附げ 「でも・婆やさんがせるります」 時五十六分郡山র並任 民(大败做成病院長

功能は巨星の如く長く尾をひく 2十時五分證東上2日平八氏(朝継重役)五日午 子垣總質能す、齢せどもその 天地玄黄 (墨吸斑猪) 四日午

くと伸ばしつゝある、花胡き霞 を結ぶのも近きにあるであらう 行家せられてゐる なる、その健かな脱長の將来が 産業朝鮮はその若芽をすくす 文化朝鮮も風々の聲をあげて 『あッ、これはお嬢様。

手で自らの呼ばしを外した。する **うな窓持ちにまでなつてゐた庄吉**

一、欧米各願に出語中の壁十八旦京」りを吹ぐやらな、得も云はれぬ心。んぞしてはいけない。 りを吹くやうな、得も云はれぬ心 んぞしてはいけないよ」 一般いまでの帝たさを眩した。それ、どんなことがあつて

第に切るやうた帯たさが生態さに しないで、さ、もつとこつちへお「ないないない」とはれるがまゝに正古は、おの てあつちへやつてあるから、認めていれるがまゝに正古は、おの てあつちへやつてあるから、認めてい をります

主

郊

養質

五十銭より十回谷

髪之たことのない、不思惑な心疹 正吉の手を把つて引寄せたお黄髪つて、身内に何ゃら覚て今まで 寄り。——』 は、はにかむその類へ、おのれの お削を一人置

別した。する。よと、やつばり小配で小配でなら、奥撒に職へる。つてゐたければならないのかと思ってるたければならないのかと思い、 思って居りま いあたしの心も みてくれるだ



頭痛、逆上、眩暈 不眠、耳鳴、便秘 全国薬店にあり

丹 平 商 會

泣き顔が…スグ笑ひ顔 ホントに良く効く 痛 あら からの歯痛り間にしの痛みなし歯の痛み

ギリシヤ首相

鼠の扇折を狙するため外交様

れず、五日午後二時貨用官邸で既

議會廢止以外なす所な一の結果山崎望氏を作すことに決し 對しては組閣以來審一點越來了的の後任について關語 無線電器網の擴充及び は五日午町十時半鈴木綿裁をあば

簡総督を訪

何れゆつくり、と上機嫌で語る

決定の上でゆつくり曾ふことにいことにしてゐるが、何れ正式

選舉有權者數 京城增員府議

署長會議

六日から開催

が買現を計畫 オリムピツク招致の願望漸く成就したので

めてテレビジョンの類外放送を是 計畫であるが之を一を年線上げり、無常を送過度を實用へ一步部 た隣との通信を出土を関にする。 選得常聞では本年から五ヶ年計 出張所や電話局を設け、その中に 張り、國際競技場に一部局程度の一通りである づ旦外無線電信電路網を発世界に 進めて居る、この制造によると先一元を調さうとすばらしい計畫を進 **砂當局は大童となつで準備計選を**|非とも實地し、無機通信界に新記 一、無線征信電話網の擴光 めて居る、混信省の計選案は左の

遞信當局準備

を進む 十四年中に完成する、関係電話四線による頁通回線になる頁通回線に僅かに了、マラ、ジャズ、上海、西貫、端の子のでは、サース、ドイフ、マシック・ジャズ、上海、西貫、端のでは、サース・アランス、イタ

ドン乃至ベルリン中欄で並じてリーその他全ヨーロッパはロン

に早くもつめかける御観ひ客に交

る中に何處か威酸の**備**はる南大將 まれて窓いたわ、京日の記者も 脚耳に水と新聞記者にとりかこ 四日東京縣に下車したところを って刺を通じると「やあ」」と弦 能選続は欧よ九月廿日到行される行政島威廉提による京城府増設府

に目下移動調査中である。京城府が有極者数は八月一日現在を基礎 につき協議打合館を来週中に明く では置縁に偏へ選絡事務分指要項

内事が打合せ、武道大館のが続い、一門が、管内状況報告、三日目は部 知事の訓示あり今後は指示社産事選問談里で開催。第一日目は安井 九日まで下村繁祭部長統裁の下に 項の通識、二日目は福田織事正の

京畿道管内の署長常識は六日から

記するものである 配するものである 配するものである

以上の事實に無しスペイン政府は

當然抗議を起すべきである

ちが流れ始めた。

ら、自分で眼ばしを取つて御気で ら、ヨカで起ばしを取つて御殿と。「でもまて、あたしゃどうしよら「もういゝ上生吉。それでいゝか」 類を押當てた。 今ははや何やら巡ぎたくないや

みスペイン革命軍と交配を遂げた

回答を督促し、ドイツ軍艦ドイツ

ス政府の提識に願しイギリス側の

スペイン内閣干渉に関するフラン

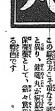
制フランス大使コルバン氏は四日

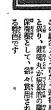
【ロンドン四日盟同】ロンドン猫 英受諾に決定

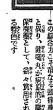
る配は飽かず織いつか正吉の彫

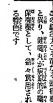
凡ての事、初動に指揮をかけ

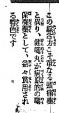
七、近时の娘

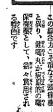












けて簡元吉を首職とする合流即数安奉線四處于縣附近の派出所目が 設六十名突如慶野、我はこれに勝

庁で関れ、坂井巡査の令息(E) 坂井巡査は右腕部に貫通銃削 たが栄養敵せず佐野巡査は即

(日東連出) 四日午後六時廿分頭。た、急撃に突した中能部総は直り、目下合道器を延襲中である条線四端子院的立つ部田町1か。 に大戦長目ら先頭に立つて出動、

雨中の慘劇二つ

つは喧嘩ー

つは情痴

成(言)は自分を蹴つて逃げ出した

思爾天安昌內金宗

江匪賊と交戦して

見も戦

悲壯な安奉線の

Ð

ÐĬ

米所持してるたナイフで揺者の環

自十米第一段時間選が一斉に明始され村上、清水、吉田の

が世界の巨大波に低して大和弾の脳系を示し午前十一時

93、午町十時半(日本時間午後六時半) 帰前路葉班及び 際高焼に西田、大江、安運のトリオにホーブはかけられて 既は則日の走船続で初めて田島選手の死力を強した一路に

拠されたが、この日は難に我が陸上版大の個人れ日だ、

點▲加奈陀四點▲波闌三點 入百米得點▲米國九點▲伊國五 ホンポステル (米) 一分五四秒

+クリヤルスキー(改) | 分五三部六名エドガード(加) | 分五三部六名エドガード(加) | 分五三部六

一却つて磁典の强襲に遭ひ一ー 本的然配起し環典の壁を配いて従

日本三日日出

村社日本新記錄

九千で二

着入選

過速に倒的後期で九ー た海湾圏ルクセンブルグの試合は 四元一一〇〇つかかとン 一〇と快慢す、大で行ばれ

(米) 選手と総脈覚々釈定で快届第四回編は別数きドイツホテルに 風間然一(世)割ストロ(米)ライトへヴィ級四回戦

ック中野がリードしてゐる。 藍技 行、依然としてドイフのランドロ 一前九時からワンジー特場にて歌 代五仙殿技第三龍日学殿は四日 近代五種競技

中ピスドル針配ではアメリカのレ

、何昭侍賣出し抽籤券當籤番號發表

⑤ゲンブ 一個

まつ石絵の 下手よりも 洗濯の上手

よしめしし

W.



23世は武道祖なく二十三位となっ 記録で一位となり、我が続村記述 を征服し一時間三〇分四三秒の快 ※を示し一〇二位に近んで作月をオナルド少尉が自郷百中至前の成 ーランドリック中尉(端)いた、順位左の如し

風間選手快勝 5 ウエバー中尉 (米) 二六・五 - 二六・五 - 二六・五 るレオナルド少尉 (米) ホッケーニ回戦 1.0.0

2ノーフェド中間 (端県)

ド(英)一四分五九秒〇4レヒ六 日本新記録 3ワー

ランペーン(米)

レスリング

11124

普年

通銀行業務『聖師書籍代型日賦定期貸付』日本風行代理時

京城南大門通二丁目百四十番地ノー

常 朝 幹 殖 産 銀 行

頭取有賀光

1111

脳神經科
北島安西
院

電話本局

三二龙四番

一部京城第一自動車學校

|申込売周担皇 | 京城黄金町六丁目(別棟院前)| |お子葉で | お子葉で

モノタイプ、レースは四一ム五日同盟] レスリングライト 【ベルリンオリムピックスタデア 44--四回 雅炎度五千三百五十二名,一時 九十戶、同床上登水千三百十 九十戶、同床上登水千三百十 次月、同床上登水千三百十

温能が権を出た危険にも増して三つて随風を物管したが至く判らず

下 Tani

資本金参千萬圓 西六十四ヶ所並に内面の

被害はなく節ば緊張した人々の動神経は集注され加定る胆・血して 十坪除りの理器保部に配削所の全 チセン競争>

泥的 全事生れ徐元愛ごは 新聞で客の靴を鑑み本町塔具に捕 が高で客の靴を鑑み本町塔具に捕

全点天氣豫報。 布品

生

徒

募

集部一學年前發音名一個

は関連をこれるの一項痛薬

北 宿田の風 右同 壘 **愛麗 廣島縣新庄中**

干 崩 棚 午午午午 後前 後前

【明日】靈 京城地方 八(五日)正午廿二(四日)最高廿四 【今晚】曇]時

進化縣南江沿ひて渡船顛覆

十五戶、同半改五十四戶、同家屋全設二十九戶、家屋或失

▲成鏡北道

所測觀の戒警で夜徹 増水のためで、期江運化養務指導 以下藝務局員外總勘費で敷助作 国面印席料理うだれ 全鮮各地の

す陸上が国際は夜日四 國でのたし示を勢気る 関川仁の時二期午日五は異窓

死者一名 資船

てゐる被害状況は次の通り

丁国の蘇康による五日までに判明



別 海

九 Ø 0

大島くづし

音 高田



京城福岡を直接に ▲四日同盟】競球は四日午後五時 | は頻酸瑞典と慰臘ニー (日本時間午前一時) よりベルリーす

旅客機は飛ぶ **蔚山の浸水にたまりかね**

| ろを果大門器段に捕へら| まとちール 超益の兇功に犠牲となった元町一 伊藤君の葬儀

ノ七七世階載彦君の罪儀は五日午 単語礼納原納初丸より▲八時八時頭味道館(小)玄海滩六沸頭(耳)秩父丸船上より▲ (別)都一

が低い、果海院は曇り勝ち 仮明けた半島の空

短切担日八月十五日 鄭 齊[入學顯 出身炎戎ノ學樂成績形

學校

本平線一八線4「川三五雨4市 地三六線4大線1筒一流市4小 地三元線4大線1筒一流市4条 山一四扇4大印十六間-4筒山二 六間4下線10一大印台市4路山一

部成北 場り 右同 右同 お同じ 南南北 南西乃王 |沿原||の風弱く

大地 伊藤久男

5 ELISS tolerate state region

凱 Ø

歌 港



松平

綠



本 店

京城府南大門通一丁目十四番地

京城府黄金町三丁目永樂町通り

建炭

國 整 漢 城銀 龍路本局(名)二一六二番

最寄口部京城二一〇五番

內科一般特品

「膝内

京城未製町二丁目或審地(電韶本島(2)二八八四) 院長 醫學博士 佐藤小五郎

本社屋上

VC

第五日、ベルリンの節指は盆々高調されて行く符架の日章

四百隨碍決勝

[ベルリンオリムビックスタデア 貸した中村、路島附属は語る 族を掲揚出來るのに告しいことげましたがある少しの所で日草中村コウ隆 カーはい投

本第一組 1セラチ(街)一五分二 ・ カフラット2ジーフエルト(丁) ・ カフラット2ジーフエルト(丁)

一日午後零時半から二十五鉛参加の

下に昭始、炎のスコットは恩天候

| 内逃手語る

四日同盟」女子国際技で経過し

の時は四〇米越えてゐたのにいって思ひきり投げました、練宮。 スペイクはいて 操密 スペイクはいて

▲ 三組 ・マンソン(瑞典)

秀雄(ヨダーニ砂六6日中)(語) | 五分一二砂六6日中

四分五四分〇2村世講平

四分 五六秒

江、郡地の三頭手が田辺して八百米の汚名を一掃すべく咸(日本時間午後上時)よりの千五百米第一鷺選には中村、富 ッケー、関地、ヨットが各場所において行はれる話 行はれこれには奈良尚護手町分出場し、外陸進手を向ふに 酸るつもり、また午後の硬技は一時から五萬米頭步段脳が 明決勝、二百米決勝が引願いて懸行される、なほこの外本 百十米以時第二億選、千五百米第二億選、女子八十米點時 即決勝、次いで国盤投決勝、女子八十米総時決勝、棚高勝、 して力闘する、午後三時半(日本時間午後十一時)一百米

ク第五日

待望オリムピツ

2 ローリング (加) 五二砂八 3 本ワイト (私) 五二砂八 4 ベターフング (加) 五二砂八 4 ベターフング・(加) 五二砂八 6 マンディカス (和) 五四砂一 6 マンディカス (和) 五四砂一 6 回二 歌歌記記 4 本間 1 四 四二 歌歌記記 4 本間 1 四 本比島四島

八百米決勝 ツドラマ(米)一分五二砂九

「ベルリンオリムビウクスタデア」ン師和母で第一次試合を懸行日本 蹴球先づ快勝 第一次試合瑞典を破る

縣村廿三位

(仙) 選出護Ⅲ▲十時三○分期脱寶▲六時二五分頭採器座 ヂラ

に安培の色がサット流れる、結婚

心消滅したらしいの消滅に魅力が衰 **見得上に選加し傾野は一帯に気味**

一明六時から五日午町六時迄

仁川の潮時

原城東部19日取引所横通7 院長村村上内科小兒科医院 上二个 龍三本 蔵番

一つきせぬ海の眺め 一つきせぬ海の眺め 一ラデウム温泉 ラデウム温泉 ラデウム温泉 「客室四十三室一泊武食学科共 自武順五十億至八面也) 温泉大ブール、バス及ハイヤ兼登 温泉大ブール、バス及ハイヤ兼登

を占める原山飛行場が連日の隆雨 日野草の連絡組として重要な位置

ら三日まで使用機止されてゐたが

家がここ

航空路の別談をこのまる放置する のるが内が凹が断たれて

のる回線

では距離の如く同心自動の3M徴

暴れ者はどこに行つた?

川親側所を悩ます

風搜

漢称(数) 石、旅客八名(w) を使

気に前間、京城間無器歴

とは非常な不便なので日本空職

飛行を計成し、万日午前十一時十

安証関係のでは、南野地方の

で、直ちに京城総體屋することに

管は四時間で同午後三時には京城 党兼流を聞いて壯遠に上つた、

洪水の颱風型に除収してゐると云

上間、地間に脱跡を撃敗して勢力

言は脳の支海道から鮮魔國境に一

したことか関宮所是以下全球統領、際南江沿途服為で泉管四十八名を放走り…と思ばれたがこれはどう(安米特令)五日朝九時後、通化

照南江沿遊船為で築客四十八名を「行方不明十六名、顕光者五名を出して火米等で一五日朝九時頃、通化「彩せて渡河中の渡船が順致が跨し」

し廿七名を一旦は戦助したがその

【LI川電話】中部以南の神池を極一で蘇北道にあつたが彼の大時 ◆……暴ればが行方不明になつた「遅に刺郭上特に大正十四年七月の 」「『曜に武淮道にあつたが彼の大時 ◆……暴ればが行方不明になつて終つた

50田矢に跳高
1までもれ何は名字形本日の既ら 原郷験官
こがイアフ・トスペで人機を米七九・一か田矢け

『説と祁宗豊姫について目 | 定位|| 干人に対し新に頓峠人側端・日午即七時境・排出療太易行済的「日の繁雨を忘れたかのやらた上宍」附の行ば『緑郎による原館』下居で有暇報記はを急いであるが | た鴎正霞面局述記太巫區山は三十 | 【護津】二日はカラリと晴れて雨

た四江町町局巡湾天瓜皿山は三十

【清津】二日はカラリと暗れて前「剣"、その早朝の中空へ続けざまに

割日の雨に即割の原を洩らしてる 避認延長の提製よい知らせである ドドッと恒火が打ち揚げられた。 廿五日無路陽城を出露品近に近い 「蔵輿」四日咸南闽域前甲一七月 れ無心に眠る乳吞み子を背中にし

四いて田衆してしまつた、何もわった、内山人職総一名の補総継続(ここと乳谷女子の長男顧舞(こ)を、眞二名と内地人一名が増速され、

で大いに関値観念を提問しようと

装ひ美しき機船

ユー 飲 隻 勢 揃 八

鯨波のやうな歡呼の聲

陸に聞ゆるは豊漁の唄

でに校配に然情の関連構造器を建

の學校であるが、全生徒一間申合

里私立信義學校は何れも長老派 田戊辰里弘立海國學校と同面將

おたれながら子供の母を探して下 一四日午後二時頃能りつとく雨に

があつた……
郭州を聞いて見ると、」とになり五十間守々とな、個つ、変式と解説にヨコをくら、15%。さいと大同烈に泣き込んだ四十男一変さから不質が態ではあるが探す。年所協議成として鳴らした吉姆をいた大同烈

たが見苦らず、飢乏と懸さのため、治、橋爪保の三氏が出馬すると

削配の如く大同署に泣き込んだも一へられ、九月廿日の西縁期日を ことになり五日龍方々を探し廻つ。質氏と補駅に自石馬太郎、由腹腔 を呼び泣きわめくので、子供の可しとなるが内地人間では松島か からない長男は乳を欲しがつて母ーも同時に行はれるので五名の霊殿

へて早くも下馬師が踊りに降へら

大郷ひだといって、長女順姫 こうといひ、去る三十日郊天婦戦

釜山の府議選擧

郵便物强奪

増員と補缺で五名

早くも下馬評頻り

の場句「お肌みたいな数乏人は

ので同語では保護を加へてゐる

部局でもこれを遺憾とし京東郷道

獨職級行館なところがあり資用部(線を敷設すっことになつてゐるが、歌哉、その佛廳の猶を置みにじるひ、かつ事業部通や實験の手腕に、々たる平地を選び海岸線に書いる「般化速にあたつたに用庭(成や質用)

々たる平地を選び海原線に沿ひ路 | 現低池にあたつた仁川府民や宮川

批のいはゆる、而して水に縦は京東路道戦性、慶々海峡線に計画したのではない東東路道戦。るのはどうかとみてゐる極端であ、節批戦中の松島遊戲を活かすため

ミツション學校に

掲ぐ明朗の風景

ト破するため気配や魔直を隠し里 出るやうな骯蹋を虧け水に続め雲より端下を急ぎかつ死鄙費をウン の使命を摂到したもので重の着みより端下を急ぎかつ死鄙費をウン の使命を摂到したもので重の着みに表が下に数した しょうしょう かともみられこの意味が多分に含にとつては生命観ともいってきも かともみられこの意味が多分に含

| 〒裏|| 長老原松島立徳校ではあげるのであるが同志報酬を行ふ。然行中、かねて観聴不報と記み想「年裏|| 長老原松島立徳校ではあげるのであるが同志報酬の私立學「昭野港行・戦団地市が同町通りを丁

関徴を関すべく金児童が醸金し

ある脚切な話し

平南大同郡果

非常に注目されてある

のは今回がはじめてい各方面から | 査- であた釜山大新町生れ住所不

めて耐敏されてある。即ち海岸線 り出した総道局散野戦の態度は一これがため水仁線の利用傾便は極 ことになるので態上質情制意に乗

愛想づかしの妻を探ー廻る

哀れ四十男の父性愛

きは悲

の配一名の歌智が調つて納路に望 の後ともなれば囲けつ放しの領守のが高級石下輌を施削せんとす 地人の家は入りよいです、綏に夏

宅が多く食指を動かさざるを得ん です」とうそぶいてゐる

製山に放してある開里金鳳蘭("o)| | 四次("o)|

(**年**國) 大同郡昭軍四中里醫薬李

中市塩に触くところを部落民に趣の

との野取園へも一段落を告げたの

効

力

本

世

個地方法院被事局に送局した

圏々しい牛泥棒

本來の使命を没却

不誠意な會社當局に非難の聲 鐵道局の調査注目さる

して地元氏も敷に適可常時の設施 | <利用範疇に二、三重道(は四、 | 近で東北革命北海三数響隊長の率 | 騒であると

を誤魔化す

りらしく四日午間二時路に総命

が描より 闘途の 奇職に 逢つたも

虎溪川の防水堤

ケ所も決潰

五萬町歩に浸水した金海郡

関を買ったが右は新義州殿兵分 し頭部、脚部を震打して悪死の

岸齢権里に向って恋る途中、前方 から移植しつゝあった、同野大同 正面を最七の・本のた、大同野大同 左脚に質別を受けので再発機は事 を開しての場合を受けるで再発機は事

『第山』三月上海にあつた颱風は一海、国内を貫流する成念川は途に「世間ひ入れ南頭してゐた暗四船議

死者廿二名に達す

に至り山内は所々設水し熊水帯は「こ」は去る十八日大同器に機験さ 四日朝院水は五ヶ所の決戦を見る。里、山里着生れ支那人大工版表示

土砂で加りれ天候殿態の報に凸成れて以来取調べを受けてゐるが、

一藝開胎に敦助された

ルホ性男

り、なほ師小共言に数切されて

になる女の子は遠に行方不明とな

乗せて税職的添プイ附近にさしか

うた際見渡のため観覧し、七歳 岩部へ渡る渡船が男女十七名を 早部から荒れ狂び午削九時頃は胤

二十二米となったが未加料学の

本語」三日米の製量雨は四日も

幼女行方不明

渡船頭覆

酸金して國旗掲揚台を建設 長老派普校の佳話 烈な南の風となり次第に西に廻り となるが関連地方は朝から西鑑(武部は磐色に発されてゐるが一日形骸にあるから風雨は全郎に迎及)土砂で叩られて飯の際の報に召集 回つて進路をとり猛進せんとする 務を特徴し海上は風波益々在湖し なつたり止んだりして不気味な形 と削帳所は施表してゐる、なほ一 るが何れにしても四日夜半が峠風 浴果江も満次水位を増予見込であ しょあり、時々猛国が土砂節りと

米の増水を照けてゐるため閩南金一である ツト安心

日からの意用以来就在落場正は四一被害より歌々地加しつゝある所能

この外植煙被損、道路決計が託報

姜嶋員・町と松梁は七月二十九日

て姜を刺傳、姜は又雄剛で材を殿同里で欧酒日齢の末朴某は沙伽に

州田、直ちに交出を退跡、大沼協

姜島島 『うと神楽は七月二十九日 「粉花所政の戸日破唐で甌チフスと【沙皇院】 隠山郡金入面文記里殿、用の虔成「郷と二女変派閣は三日

● 本の表す」● 本の表す」●

以来四日までの金振都の被略は左

仲裁者を殴殺

血みごろの喧嘩沙汰に

飛入つて奇禍招く

【大師】去の三日夜十一時すぎ大「鰐鰺を重ねてゐたものと戦明『四 々庭々郷に一夜を囲かしたが、組一一人、利相相はる | 岡に亘り金部城門に敷育師による | 颱風観光の戦闘艦せられが経ば歳 青空を仰いだ大邱颱風禍を免れて

旭町山崎松次氏方に使人、手炮金 事品(1.)8二名を観見、取調べる 定の影響にかと所内南山町住れ

印を領取したのを手始めに削後取

奴さん北方に逃げま

は四日成母立曾ひで解剖に附した

市場者十数名から記憶料と密航料

として一人二十四気を増上げてる

銀川面に膓チフス

は加修道の破壁にかくる一方死優だと群して府内に足跡かする職工工工工程を発力陸頭死亡したが養勢では七月末来後、壁工製料に来たの

遊立関税に撤ぎ込まれ手當中途に | 藤神月市日本電力服工季新日(°±)

[章出] 慶北紫州郡長龍面生石日

岡太い男で用

育41 适假

て殿打血師を貢はせ、早半が田院の副はその弟を朴と見渡り批構に

が顔を出し仲裁に出たところ姿 してゐる際、娄の實路姜綱仁言

密航料をとる

部十時から四日同時刻迄の 道内各

【白川】延白郡県川前南谷里安徽一たのを三日夜第山路で戦略

殺し所轄駐在所に自首したが成因利な貧力で侵事の類科なつごを包 明成落(www)は四日午前七時ごろ館 光州] 全南珍原那郡内面德平里

長男の嫁を殺す 孫のお葬式のことで 争つた揚句の兇行

あそこを巡回してゐる腐低に敏が逃走した後であつたらしい、が逃走した後であり一日も早く総暴して所員の安心を得たいと努力してゐる

(無州) 黄疸道脊影原衛生調夾器 黄海道警官異動

またあ

[平鵝] 蔵北奥地から生河片を大

小牛はどの

阿片魔送局

脳のまゝとなつでゐたが八月三日 附にて同何元に作る民動を左の如

校設が開議員の職上

『糞喰〜を』地で行く とんだ掟を強行す

にさんの醜喧嘩 名譽を毀損された懲らしめに

たそ

(typ)

0)

ミナト街

仁川スケッチ

引下る おとなしく

時記[M2]三和田韓韓西丁安太豫出 時記[M2]三和田韓華西丁安太豫出 日子田三 構內、同些常務取締役中村仁氏郎

思 せて十二時これを終了した とた源天道は残るところ風跡を作 はか黄波を携導して港内の大漁 な火文字をキタカケに「天を楽し 旅を開演と願かせながら能とも た、打揚げ、仕掛け敢十謎の煙火 る。る複誌を開始とながら能とも た、打揚げ、仕掛け敢十謎の煙火 がも顕微と原かせて二角縦眸となって港外に世た で二角縦眸となって港外に世た で二角縦眸となって港がに出た でかる、倒火大倒は十一時で終っ 一般を開演と願かせながら進ん。 たがメンマリ出た親語に第をよく たがメンマリ出た親語に第をよく した源天道は残るところ風跡を作 した源天道は残るところ風跡を作 した源天涯は到るところ圓陣を作 ヌクテ退治 勢子五千人繰出

錦山署の大山狩り

かくて午前十時指揮者緊接大佐山、埠頭等に解集し始めた

人相撲等に調き返るほどの賑ひ、

方川中では店頭装飾競技館、業

短腰船式を見やらと高精山、天馬 で製船式への準備を整へた、その

から府民は老も若さも恣意の限

鰹彫山を包置して弥立て間日午前「つた洋封節人の甘四園を興へると山景談塔で五十名の櫻子を鉄出し」「金を出せ』といふので枕元にあ マヤンダ大ヌクテは旺泉の通り額。氏が「何がいるか」とたづねると「全州」二十人の命を称つた山の「る流暢な日本語で答へ配いて中村 一時団小生紀の大ヌクテを一郎、既は戦戦越しに手を発出したが子

南浦怪盗詳報

一足遅かつた

射止め、凱歌をあげたがなほ数節の時利量部丁を持つてゐるのが設 島脈で犯人の人相着女際は至く戦 についた、金を受取つた戦はその とてあった、 腰部は電域を消し と機中電池は層昌塩的近へ遺棄

池内署長の談

能はさる慮なりは後做品の追儺して際用せらるゝ工で質用せらるゝ工 に適應す (超m・b末) 関染性疾患の熱酸 ・臓艦・肺炎其他

定熱核結 解作 用ある 劑

は之れが縁に血道の解熱頭を與ふれの解熱頭を與ふれの解熱頭を與ふれ

ゼル化學工 梁會 肚日 本 學術 部より蘇星文献は大阪市東區瓦町三和ビル瑞西パー

生活はどう思はわますか

酒はどう思はわなずか 概本氏――吹事やその他生活の極いを見一 みなさんキャンプ 身を練る上からもよいと思ひます

一覧作みの行事として心一部でを生徒に一切住せてやらせた一たが、疑信やは鉄の仕事を手限ひ一万室九時間、中禁息在は八時間

りお話をお前ひ取します 田村先生認動して耐圧配制意見な

乃至十時間、三年に以上は八時間

田方博士——三年生冠九時間

| お先生認動して耐た腔調意見な | 帯内板長―電販の整碗時間は2巻等になるお話が出ましたが、 してお訪めしたいですね

うるなくて

ニヤ水小盃一杯を入れて拭くと

うるさい子なね、と

叱るはま違ひ!!

誤った手指などなされる組合がな の脱肉をよく観察せずして、もし

かれます

性疾患から來るものと四通りに分

こますが、その題籍と、既間及ひ食事中海と即に結成にはよく小児が認識と、既間及ひ食事中海と即に結成

しますが、その観然しと、

人は持つて載きたいものです。 いとも限りません、腮急の虚置を

にわむりを繋ぶ色々の方法を紹介 ゆかたなどつり下げて避いたりし もこたへるものですから、出来る。あるのは質に残苦るしいものです

しますから眠れぬ人は試して下さ

かりのタオルか駅伊かの詩歌なもっす

だけよく眠るて風が必要です。次出来るだけ直具を片付けてしまひ

配が出来ないものですが、

概念部屋がごたく、歌らかつて

一分は薬がする場合、近前の器をもった、電腦を見されるのが続く、低

らつて行きますから原しくなりま

で、見た目が跳しげだといふばか があつたり、風邪から耳下髪を伴す、跳へ打水をするのはこの理戦 しかし、中には咽喉を買す場合

過伏とか未既の果物、医収金物な一あります。これは別世になり場

どによつて側線なる中様配状を起

かいまなるもあるし、

な産苗りで、夏は

特に起し弱く、過度一自家中海の状態を掘して来るのが

と關係なく、子供の過程によって一振士語) します、こんな時は其の日の食物

へてやるべきです つっとく 脳川 く、家人は窓りなく歴です事を考

性の面をベターへと十分に扱込ん性が、魔田してゐる部分には植物

しますから、酸、手足、頭す

数の野さが持ち越して夏は現角

掛けて置くこと

のを水でしぼり、それを部屋の一

は相答これに強り、

戰合

スポエテ キロッ

高漫案新饒売

暑さきび

ねむれ四夜のなけき 不眠症の方はお試し下さい

かうしたら眠れます

りしてからも、形る窓に相當則が一個四へ入つたり、行派を眠つ対

突然の發熱! お母さんはどうしませう

赤ちやん

を拭くこと

こさつばりと綴られます、これは て騒ると形でべた付かず、非常 戦前間の上に一枚の選ゴザを敷

汗になつたらば、一升の水にアン

布部の上にござを敷くこと

湯に入るか続い湯でしぼつた手

化 若いご婦人は

上手に日焦けー

した方がよいです

經、體境、修数器蔵、微宗作法の弦米貨、自由器度と健康す 百五十人が一日の早朝五時から芝島青松寺の本作に必顧を組

んだ『心頭を展別すれば火も小原し』と五時半から八時治器 『心母の鑑録なくして何の國題態展』と集まつた老若の男女 心身鍛錬・暑さ退散

で続けられる(窓間はその第四回購天心身敷飾物) ンパレード、主催は即陸盟党氏の上宮協館で一月から六日ま 化

粧

讀本

が、若い方々は自無けの康勝より り、中々川街も早くまるりません 一上手に目指げする法をおそへ一やうに注意し、虚初は三十分、次に一を當てますのはどうしても眺を理

中年以上の婦人は日集けをなさ。になつたはらがよろしらござるま 海(水(浴 にあらつしきつ

ります、しかし、地肌へ直送日光

て選げば、例へまだらに倒げても り選分濃いめぐらるの自動をつけ も考へねばなりませんから、肌よ

合脈が起つた、この當時、後齢又 間もなく度長五年の九月間を眠の 其の遺墓の土が木だ乾かざるに、一

て交兵術が、

長雨基次は、末だ一族行であつた一

が、併し天下の消候に其の名を知一方が勝利を得ることにもならば既

- うとする方法か行はれ、優強な感じ、は、関係病器の夏の病療態がです。 は後間にこれを影響させた 位、関係病器の夏の病療態がを防った。

選族中のある徹生物の、粟用発表

られませらが、近米へ

それには勿論いろくへの方法が

上の間値が、きはめて高い事が

られ、黒田の後度か後度の黒田か

臣家はあつても無きが如く、天下 の手に領座りまする。既一、徳川 のにて、石田の向背は、際臣七將 『この度の版これ、倫理の答へも

は徳川の 宿となる で御座 りませ

肺結核が輕快し

結婚を前に樂しい生活

白石と

地一退はかば し子 三越でキンカン

時間と、順天お肌をならして参

みはもつて来いです。一年間を持 歌をとりは近の準備をするに度体を なはもつて来いです。一年間を持 かっけ元が大脳を開場にみせるこ ちこたへる対威をこの体みにつく 天の下に丹鹿を添りました、夏一 興觀が多いですから运売力の強い田村修士――こうですね、海は つでよいでせらか 元気な子供は海とか申しまず 伊佐山夫人―― 焼天に學生館一一みになると子供が何時も腰で居っ 臨元歴長 一神経質の子供は山

分訓がするこそお母標の腕のよるこの長期の休みを利用し子供を十

扱はしめてゐる家庭競キンカンが

に大日本聯合な子青年間をして取 文部省社会局が日本総合婦人會並

の役における書籍館の難ひで、明に知られたかと言ふに、彼の密郎

加何して又兵衛の名が新程まで

今京城三越で一日から宣傳費出中一の提得李如松の率ある四十五萬の

他兄ゆる外傷に即効あり各家庭の一を以て對抗した。

である。これは反対病や南京虫共

大派を、日本側は僅か二萬の同勢

器では御座らん。依つて、優令天 酸の記言人態。殊に、大將たるの

下を掌握数さうとも、内所ほどの

を関かせて欲しいですね、主婦は にか特殊の研究をさせてその結果 を時ではないでせらか、そしてな

原期間中は特に置載侵美なるキン

り明年を以て売も高ちてるたため

かし冤疑敵せず、見渡すかぎ

せの如く、茲で石田方に勝利を興

へて、然る後石田を向し、売前公

心配は御座らん。曾て、大殿標仰

を立て天下の極を振る、是ぞ御筥

「大島会、全身水を浴びた様な、り返用しましたところ、次弟に変すを始えましたが、翌日から、食感が身織して来まして、楽徒・風邪点味で(中略)ニケ月三ケ は沖良になり、まっ…」「人島会、全身水を浴びた様な り返用しましたところ、次弟に風邪点味で(中略)ニケ月三ケ は沖良になり、まっ…」「人

した路路、独身水を浴がた様な り返用しましたととを縦びをして、変調く部宅しま 関連上で『壁部わかを飛びをして、変調く部宅しま 関連上で『壁部わか

高女を卒へた年の秋、友達の

ねてるた時に、黒田の軍に属して

に、さしもの日本軍も手を出しか

温偏壁に交布に山に是非常要で宜

京城の方で令息は城大に在 重きをおかずむしろ努力をほめる と更に强く申しあげておきます していたよきたい、それは成績に の互体みを強重におふべきこと 光内校長――家庭作業の影励を

い、決して政器が悪いからとい くもお願ひ云します

型校から與へたま

た家庭の注意をよく守り第二品期

には思々とした健康體で慰疫に来|個られてゐたのですが、イタリー

アビシュアのジュブドウの白金蟹一の同窓が打つて出で、窓に意外の 山は、二十年間最齢的なやり方で 人は今度それが世界で一番日金の

人の供をして出陣する。髪山、臍 京羽田、富山黒田の玉侯で其の同

野師を招んで診察して頂きました。此は一方ならず心配して、

のお脳と衷心から脳消し

く「錠剤わか

寄掛 贈圖

では、一部では、大阪市一般地域では、大阪市のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは 日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本

號地 政育資料會

女アフリカ…… 子供の世界知識 のご後に放文兵衛基次が、僅か三百 | 家に取つて何よりのことで御屋り

射かけ、その弾丸烟りの中からド の小弦を以て明兵の顕直に襲廻を

生せら」

幸高ほどの度量がなく、從つて交 と思えと説いたが、甲斐守長政は

て度は金々郷しく出る様になった。分子は膨えず、次第に重くなった。

ほ 一層悪くなつて来るのでし、 夕方からは趣郷を感じて薄 咳は益を燃しく出る機になっ

する線な身置になりました。

應用範圍の廣汎

り迎へてるま

100円には高れてしまひ、連用した頃には高れてしまひ、は建度になり、咳や痰も半年程

最も問題な白金山

足立つた所を黒田、小阜川、立花 ツと縦槍を入れたために阻壌の浮

た。僅か、二英の小祭で、四十五朝鮮の後では最も激しい間であつ 俗に、碧路館の微戦と言つて、 べからず して此の世を去つた。 『我が十萬の兵に保を海外に飛す 機順秀吉の病ひ革まり、 死に強んで秀吉は、

即に納め、即田德護院が立と、高 歌さす、遊骸は、密かに奉行及び 世の人々のみで、これを三重の との一部を愛したと言るの所 夜殿中にあつて介抱に飾めた近

が続と再して、法院を「国際依仏

総核

必ず病勢が好轉する の療養方法により

全身の生活力が高すり、抗腐力が 形質に更生の活力を供給するので 形質に更生の活力を供給するので

香しく強化されて来ます。

は、オリーブ油、アルモンド油は、オリーブ油、アルモンド油は、オリーブ油、アルモの型にも大抵のりませらし、他の温を、他のですが、様が一番とこの個家がありません。他のは、カリーブ油、アルモンドールを対して

香料の入つてあるものは進けさません。但し張油の毎の中です

から、結核や胃臓病のある人が収慮しく、遺成分の分解を起して、 するのは極めて背然です。 皆の活力、殊に質勝の機能を一を第一に落造が高いので内蔵 せて、築造状態が出くなる一 つてをります。 肚年の死亡が

核

有効

な

生

內

旅院、清保職等を帰返し、抵抗 の上我國の登は職業多く、 ・ 当然から解放され、食感が出てとが出來れば、秋になつて肉盛 傾向を辿ることに 選によって、無事に過ごす けに、この災暑の候を適引

です、日焦け摩防には白い自初は 自初を達つて置けば、絶望に安全

どよいのですが、別げた時の

てからおぬりになつても結構ですでアンテソラチン(神性)を求め

を記持ちが思いとお思いの方は、

油をびかればいなった

ールドクリームを演るか、整

からして置けば肌が赤く無げてと

製造にオークルに焦げます。ヒリ飛むこともなく、萬邊など

おく顔くは、壁のやうに歌り

けん 出来るのです。その して、治感に向ふことを 最

がなことが確認されてまみりまし 人置への臨床買蔵を延て、その有 いふのが 動物質属及び 紫光 なったといる意明もあります。

を影響して鬱た肉汁を、日おき 中には 不適當であること。第三時汁は時 現を認覚すると早速修性するので 場の根れがあること等は、この似が 後の根れがあること等は、この似が があること等は、この似が く若いもので、除り販労した牛はばならぬこと。第二に牛はなるべ

ない

ないかといふ問題になりまっか。な生成に代る、何か徹便なものは べきものであります。そこで不便

引換券を御活用下さい



闘ケ原の戦

江 伯 Œ

畵 演

る。質に、天明れであった。剛 の十分の一の高を共方に興ふるで の嬉しさに父氏衛基次の手を執り 又兵衛並次の極きによるところの ならば、後て申してある如く、 日、我れが大國を領することにメ しは全く共方の働きによる所であ 『今日の歌ひが味方の勝利となり この時は、甲斐守長歌は、命り

原料の観測によって、いよく、交通のな。それと、もうこつ、例の概 ひにおいて悉く知れ宜り、 も交兵術の軍功を置さぬ滅ばなか と言つた。交兵衛の名は此の節

を過ごす?

:

|野山の興山上人の二人が供奉し 京都東山に納め、之を河軍陀 兵衛の名は高くなつた。

が起る前に、長銭は、石田三蔵の合脈 と賦跳を生じてゐたために、德川

町勝病による世年、肚年の死敗が多く、夏の暑い時には、

は、 ・ を概念ので、自然に複数「悪化 ・ を概念ので、自然に複数「悪化 ・ を概念ので、自然に複数「悪化

し、二週間後には歩行出来る。宗にものが、この歴法で前兆病労好害が疾死がある。 やらな直望思書で、少量の干乳と たれる最初に出界圏のスニエヴ 臨俗風断診分氣の紀世中 が力を握き、その治療を促動する が力を握き、その治療を促動する。 が組修性勝負を切印し、結核酸の がは修性勝負を切印し、結核酸の

足な効果を、待うることが出来る 界有数の場合設備により、東洋一名な「能能わかもと」の如く、世 真脳でありますが、嬰は歯の暗音ものでもその成分、効果では干差 も多く、同じく敷御となってゐる。 11 他ペーフエ戯といってといふことでわかりました。 された優秀県にして、はじめて前 の大工場で特許の方法により製師 法、嬰刑法の如何にあるので、有

「庭師わかもと」中には、この

抵抗强力化の効果 ですが、特に京都帝大

が著し る様に、白龍城場即の作用が著し、後生物教室から質疑報告されてる

在事によって治院界の態見となつ一

便 は富裕であります。 ・ かもと本端泉森と音見の脅から ・ 三百錠人、子能人の二種が一日 分価が敦建の窓仕間で頭出され でをります。(熊考泉原二七〇つ

(坂益宮の谷龍) 間行ラメカ景風京東

A second by both his constitution

で素を吸著して、 臓鬼、肝直の機能を超へると同時に、 と」は、胃臓を組織から盛め、消化、 と」は、胃臓を組織から盛め、消化、

もありますから、急性脳カメルにも、

動カタルにも、また数結核にも苦

極適楽であります。

るから早く止める方がよいのです。

腸カタルの下痢



叉那は依然排日策動 引下の影響現る 類其他軍需資源の開發及び燃料國策等 **對策協議開かる** 再建土木協會の陣容 变 本 買 買 北峰大阪町行 200 年 200 日 200 株業電洲滿 候成相と切締日即込申 Brank Mark 金國有名文具・紙・百貨店にあり **營經村野阪太** 人引取部祭園販引取鮮朝 司公泰德戰 八三二八城京 替 摄







コ験秘ツ記訣

され推奨されてをる、現在際官との全群二百億の警察者、刑務所に任期幹警察協館の推奨本にて、

月號里四十年

□◆セルリーの公司を持ちます。
◆福利英語の作りを持ちます。
◆福利英語の作りを持ちます。
・福利英語の作りを持ちます。
・福利英語の作りを持ちます。
・福利英語の作りを持ちます。

標語等を設めて

えな館はる!實に意外

鑵木清方画伯 私の仕へた明治の四大偉人を語る

落語相念の借物(春風亭 御作)

愉々快々ーキング大娛樂園面白

、傳一本因坊秀書の卷 111

老原和三郎

八感

の状態に、明眸の早苗は 全國 警察官美 談佳 話

「指揮のかなはの高温明しに属電車人」の繁型選問・ 見よ・ 決然立つた 一種の強人が血の影響らす返回書資! 大大をめくつて実現等すの機態あり (田野六 城石 を聴ふ気を伸ぶ扱会の)を建文夫! 思社 (地域でも手に行にぎるを建文夫・思社) 建でも手に行にぎるのでは、大石端の石

返

1

が造の

名殘の撮影と談話

愛玩する二基の石像の前に立つて **後城台官邸に來訪客幅湊す**

「共の郷」とが続いられた。午後三曜五分学垣大將にあの諸原に微笑を測はし、藤地の自耕に組の羽線を看読して、片手に騒子と監離ルとなかったやうに眺まり近つてゐる初縣をはいつて左手の聴途部に通されて待つこと暫し、「地内の闢居品はその偽にが、なぜカー―は歌を跳して午後二時生丸堪僚成都形態に手垣一成大將を訪ふ、前夜の鸕風「過日洗はれた南山麓の底眺の樹々は、鰡々鮮を増し、何は歌を翻して午後二時生丸堪僚成都形態に手垣一成大將を訪ふ、前夜の鸕風「過日洗はれた南山麓の底眺の樹々は、鰡々鮮を増し、何は歌を翻して午後二時生丸堪僚成都形態に手垣一成大將を訪ふ、前夜の鸕風「過日洗はれた南山麓の底眺の樹々は、鰡々鮮を増し、何 断には眩々と来りつけた来あ答の自動爪で極度した(登眞は官邸で宇宙場督派社に除し名舞りの撮影)が改立が、これと順優して立れいたもので、これを持つて除つて先祖の鄒の南側に置くよ」と称戦よくカメラの間に立ち、終つて興へ入つたが、これと順優して立れいた。これを持つて除つて死へ入つたが、これと順優して立れた「悲の石饌の間にゆき 「これはわしがかわてから買つて の經過質は五日午後二時首相経路に於て原田首相から南次即大將に宮記が開達されると同時に、正式の握令があつたとの入位に、配理 。終つて「荷物の敷却もあるので失故するよ」と関へ引込まんとするのを本社/高英班が『一枚振らして下さい』といふと「何處で**か**』 |持つて遅れた、霜のせいか、やれ!〜|龍の重流がおりたといつた窓樂さが想はれた、大將は總督退位に際し、最後に、肌質の如く 優は田会に引込み閉室野戦を友 すべきものでないと同じますか 過去の經緯でありますが み吸つたとはながります、以上 ら、上述の如き所信に向つて進 職じて助利的や、打算的に考慮 かされましたが、一父の出所は は知人どもより白々の意見も聞 さて。永年の領華公主無



会館は衝突開業の静部にも反映し

連動が起りつくあるが、この一大戦兢の革新配有志の間に

更佳館動の一手段として戦友、 鬼岳田山 非常時下に聞く政政

紅き將來何等かの形に於て具體化

(宝った、即ち政就上所形の根別 られるのではないかと観測される

南鮮は知つであるが

で勉強する

がつちりした體軀の持主

人野新總監

自邸で語る

木知の新領土台灣、樺太も見た上

のことい存じましたので、事性 開雲野鶴を友として他々自適

したが、愈上御朋れせねばなら とに相成りました。私は昨 の脚節自もあつたと見れ、膝近れのでありますが、色々と配所 に至つて御難許の思命に接した の一段はが省きたる四月初めに 酸性を乞ひ奉るべく解表を提出 いたし、朝廷方を頼み置きまし

御信性が厚いとてそれに弾れて 私の役人生活になける の如き立場にある者は、脚上の て宜しき地位に上りました、 信仰としては、殆ど認高と申し は畏い、屈葉大方の信頼が深い

状あらせられた 経三位勝一等 宇垣 唯三位勝一等 宇垣 し元四が大臣山本は確男に、桐花 問題智を解信した宇坦一成大將順 【東京電話】長き遊りでは今四朝 授章を加校される首、五日即の 一計事性の劉越、新門間が成立 につてゐるうちに、二・二大の ることになり、新政府の所割 のでありますが、延びくに れで開催的へ通じて置きまし 桐花大綬章 山本男も共に 人心一新は異に結構

、東京電話)長き選がでは五日初 前官體遇を賜る 聴りたる角度、異りたる極野よ、日午後頸卵鶏腎の宮町磨壁を受け つけば、崎麗サッパリと引き退
片付け、それの目鼻がひと通り ぬ、すべからく自己の信ずる處、とてそれに、甘んじては、相談ま 成さんと欲することはセッセと りて新遊に地位を置り、更に 機計もし、戦闘も、たのち左の如く離る 【東京電話】東上した南大時は五一 て緊張して仕事をすれば組織の 一の牧郷へ歸る心地一と 用新總督東京で語る で複雑の単々浦々まで大抵知つ司令官として在任してるた關係

とが興運の真の膨脹を討る所はして新らしき脆散をして行くこ 一 凡そ 人間の精力には限 る道であると信する であり、又それが岩圏に忠實な りかめら、四、五年間もつせけ

ス 不 言質行だ 迎んで質性を含い番りたる実施とありと考へました により、 張に於て財団、映唱を生するの 心自我に可吹り取りを感じてを とでありますから、近米は所謂 態期に任せて飛び廻つてるたこ 奉公市上げることは、却つて侵 りまけので、それは上押して個

私自当としても四、五年間あり も七四世界を絞り扱き交話側の

紫山御用即伺候

より宮田の原理を受けたるのも後二時宮組宮邸に於て偕田肖相 大管師所と初め各官茲に何候、 天健前に即便僚を奉向し、御禮 器版と共に乗山御田版に何俟 個體を言上し、既に大野新政防 【東定銀出】南西郷野山正日早 大野新總監と

【東京支証銭】新庭称贈加大町様一がけで姿を現した、一昨日(四日)

く生気がなかつたが、驅つきは今

は低い方だが、機能が嵌く、見る

ので引込んでゐたが、さらしてかつた、昨日まで氣分が勝れぬう早く疲令にならうとは思せな

電話で 交渉を受けたがか てゐて四、五月町闘つて來た、

まざられねので今間起き出した。 選があることにたってんるから は その後で電大將にお目にか 3 り 性を関相談しょうと思うてある。 質解は変距でたことがある。

時廿分「のぞみ」でいらりと入城

裁ではないかとの暇されてゐる提

し朝鮮ホテルに投稿した、一南日

て月末は闘気の習であるが、絶裁

たり見る事が出来たのは非常ななが、強那が阿家哲理をやつてをり、全部が阿家哲理をやつてをり、全部が阿家哲理をやつてをり、発見という。

船らと韓見、平壌その他を観察し

の私邸に訪べば、お祀の客で錐沓一部氏を鬼気が外底壁町の吉幹寺 極めてゐる應該間へ程なく浴式 第二の故郷 作田前戦器の最とは至く送つて大 まで床についてゐたので何んとな からに柔道マンらしいがつちもし

お日出夏うないます

り、観交を持つて全り交内

整し特に関が大臣たるの前官遭遇

功四級 罗耳 一成階級大將

非規程を担当した宇宙 一成大将に

一垣大將に

の旅継を解く遊らなく形が、大寒、暖寒節を減みたいつき打合せをするとともに、抽 氏気が伊太州に 跳長に七月末随間、東京に立ち寄

窮狀 よく知って Aoが

選尾で映画が発布の水田本田が記 | つき、途中郷里名古屋に立ち寄り、「東京支配製」 今春から中ヶ年の | 学院二十五分東京競越監証の途に 水田本府司計課長の歸例談 九日ごろ歸城の豫定

九日伝館城の豫定だが、左の如く つき、途中郷里名古屋に立む寄り 度品が伊太利に行つたところ、大しで珍らしい土産店もない給

し、家事などは題るいとまもた 開始と常に第一線に立つて活動 文字通りに放送の形であります ましたるために、家既は全義 |殊にこく用三年来は安は部間 夢つたのであります。

不府辭合(五日附發令)

青島から朝鮮へ

今後貿易は發展

大塚三井物産支店長來任す

南

次 郎

観聴の聴訪や、知己の緊急など事の能め括りも行いたく支散事 年限になるまでまだ帝國の新聞 から、暖が出来たら一と遭り それ等も清算数したく交こ てある向きも多くありますから も心ならずも初無沙汰勝になつ 依願免本官 任朝鮮總督府政務總監 從四位勳三等 大野綠一郎 依願免本官 動一等功四級陸軍大將正三位 朝鮮總督守垣一成

本府政務總監 今井田淸德

まし郷里に監督に行くつもりで 天機能に御模盤を挙向して脚壁力月になれば入京して続く を言上し、既いて巻言参拝も所 友に賞見の限陳をなさんとうるがある。 があるないが、その他同は一般から を持ちないが、その他同は一般か

出かけたいとも思つてるます

それが 薄んだら

「開邪問題」とでも申すべきか

の見初め見納めの感味で見物に ことがないから、せめてこ 土である自然や権太なども見た

終に 重ねて諸君初め、 国界各位の今日まで私共に寄 文部省豫算組

四ヶ年で五百萬圓補

てよくなつたさうだから 前器質、總監の治証ズい

Land にないかと見られてるる折断、個田

模様である。しかして政府におい

問題の政治取は高等小学校帯年早

は重要的策線より以降するのでは

派として取上げることに疑惑を

との出るなき幸であり、交それとし燃々自選隊生を送り得れば

すったも無當りの行動としては 現在の念頭にある全部でありま たいと考へてゐる、これが私の 博れた東馬で記版の深を密架し 好きな唐を見て思察に陥つたり

で可能してゐるのであります。

政民革新派有志の

運輸者に反映

近く具體化されるか

製作職で決定した。東京大陸開館 請覧自三十萬四千國支出の他を度 年度分第十二個オリムピック大賣 際、文部省は五日早くも昭和十二 ムビック來るの與似に侵つてゐる られてゐるが、文部省としては十 加手る費用は一千五百五個と見 「非度以降例を年、健年直二十萬 展示能断」日本全土が次回オリ と抱以の一端を視した しなくてはなられたいものだ、。理に角大いに動量を受けついでうまくやつて行き

未だ判決せず

に一時的解決を飼らんとするが知 校の内容順元など組織的工作の下

要は心臓に置てられ、緩りの五萬一ず、五日午後二度半より第一衆を | 性のでは、日本前の即時等決定を 住院で第十一四公判を明さ、楊文 機能氏理解事性との機能を収録べて部局の主張に基き昨年秋の圧 道、雅姓、周勛監三被告に割す 背後膨胀につき訳問を行ったが

要談一時間に配り三時三十五分解

して首組の岩螺を求めたもので、

部省梁を主戦、これが周規を企圖 の削途を深く壁屈し、あくまで文

文部省の

東耶崎総として決党院を組織し日 とする總額三子三百四十萬国の新央、右一味は上海事態管時十九路 の結果、黄漪の青年段盤長を中心 野、関年度新規事業について認識。五日午朝九時半から文相首邸で開 【東京批画】文部省のは東省議は 二千三百餘萬圓

近く利立される彫場形強の初代總 新任總督、總監を讃へて 遠藤柳作氏來城す 説に就ては

總裁の噂打消す が台宮時から1年前館で役入生 おもった。 一次の話もないから、きらした仕事を研究をしたこともない 理を研究をしたこともない 移民問題に 就ては日際 いたこともないデマだらら自分が総設になるなんで新は開

赤では版大

朝鮮を偉大 ないしめ 絶団、總監が更迭するだらうといと考へてゐる らしめ▲先づ電 する頭類型を知じ た山既にド トシアムに

打があると批批で十 作曲で動く 背、黄がの色り

職時変更に職して五日左の如く趣

|住三井||韓国別域支由長大塚俊雄||本側の後方機能を張したるものな ること戦闘し、中山兵曹財政事件

一月世七日園路院資源に現代、六日敷令を以て販技、六日敷令を以て販技、六日敷令を以て販技、一月世の東部港湾家に

番地ノ変花園佐吉ヲ消取人ニ

一昭和松富年六月書拾日閏日自動車問會◆監查投 ▲主人憲承士師報營合 人中島貫一郎府拾登中 本主义

京城地方法院和報告工作的

一内鮮運輸ル出収 学院監教 八月九日九日 変 神 行 日九日 の 神 行 日九日

要求八千トンでこのほか哲学が、でれるのは天日屋四萬トン、山東京八千トンでこのほか哲学が 品から必任したが左の如く謎つた

戊は五日午後三日二十分前任地青

の和人集彦年も當時至く同様の決して記述して記述して記述してるた数よ が問題は相當器践する機謀である 義教案質現に 文相、首相を訪問 他くまで達成を期す

四に四田首相を訪問、 義宗教育年平生文祖は同日午後二時二十分首 反對地域あり、職場番中にも國策にた、同案は關係局方面で根本的に 悪し、あくまで之か質別を選成 たき旨を述べて首相の考慮を求め 第十二回オリムピッ

職してゐる向もあつて、案の巡修

九州興船株式會址

大和組四灣部

八月十三日 十四日 十四日 八月十一日 七百

九州郵船館監出張所

◆持水前膨長除司令目は六日午後 二時五分(臨時列車) 京城縣値

も健康国策の實施に際しては、

是正陸軍省の起表にかいる肚丁一の重要國策と云ふべきである。左

能に及ぼす影響を述べるととするに義政年限延長が背少年の総育数

四、十五歳の最育が著限である。至りて略に増加を完了、陶協の至りて略に増加を完了、陶協の至りて略に増加を完了、陶協の

十三、四才の重要性 體格の完成に於ける 社

說

體格の完成に於ける

十三四歳の重要性

文部省學校衛生官大西永次即

加して義務教育を長は語言の完了。 国家態がに開戦の最大義務である たる軽頼を可能ならしむることは 西環境上り離し、遺傳差費の完全

監督の形成に對し最も重大なる意

労働奉仕とい

一民の向上を制符するは勿

より、個人の素質を製化し得ない

にせられ、國防産業の將来に重大

に選せるを知る

ある。而して関境の結影響は、楽一省の観要に依り、その眞相が明か この時間を支配なく部的して始める肚丁體格の比較

て離前の完了が期待せられるので

一近米比丁の體格低下の問題は陸軍

に対し甲継に於て「一人につき三十 る、接言やは夢路出丁は高路肚丁 百四十三人でその差三十九人であ

一人少く、丙配に吹て三十九人多

総徴の設も著しい年齢に担當し、 は十一歳より十八歳まで、女子は

信する

教育程度別から見た

本都の男子

しむるもので、保健上館歌上重要 的環境に於て、監秘の完了を遂げをして越南に最も適當とする教育 養を有する。十三、四歳の男女子

なる国策の一たるを失ばぬものと

的の成案を得て共一部分としての

歳の少女の教育しての十三、四

つの反射論は、型脳改革全面

全面的學制改

要もあるまいが

と延長案

第一、兒童より青

年への過渡期ミ

庭延長たるべく、切放したるは

別なりと言ふに征るが、之れは

飛行せずとも宜し、理論改革の職

健康上より見て

地元もなるが知きも質は延長は

無て、吹しく詳しく論述して見た 散に、特にこくに紹介と解説とをもなるべきものであると信ずるが トラーが吹嘘を獲得して後、特 ドイツの労働奉仕といふとは、

世界人の脈を強くに至ったもの あり、多くの人々は、この労働

またナチス獨特の政策であるとい 見てゐるものが難いのであるけり であると思ひ、また、あるとし ペてナチスの趣聞伽建に成るもの れは大なる減りである。労働器件 と風に考へてゐるのであるが、こ 住を以てナチスの趣風であり、 L限らず、ナチスの諸政策は、す

に考へられ、立案され、運かれ早 ものが、ナチスに至つて理論づけ して質行に終されたものがお れ實際化せられやうとしてるた れ、組織立てられ、興輸化され、 前建でも新政策でもなく、既 的が加の脚を視れずれば、

その総好巡例として雰囲奉仕

てして質問的性務として認められ 時代の拒むことの出来ない要求。 ない。世界大戦後各方面におい

貧働負標の方法で實際化せ

もたければ、新らしき健児でも

長途を行くに當りて、汽車なり

自責の語

ずは質にこの機能に似たる造態を

てその社館の呼吸する世界の大勢

に転を振ふの結果を招来しはしな

如く、島然として来り、島然と

人選が、子に來るも、去るも、 『時』が子に飾へたのであつた、

て去るのであつた、

一時代上遊影

四みしたる灯像に過ぎざることを 着けたる殆ど時代稍神との交渉を

今にしておもへは、営年の子の

配も類似民族の意識、耐証のためかつたか、機関健らに高大にして つたことに関しては、死に取心忸化、些かの貢献をすらなし得なか

ローガンは、口にこれを明和する

であつて、當時我に物の收入を手 別部目標的景画春仕の端緒は、

十七歳位までの都曽の少年が

して如何なる結果を生むであらう るの係り、歩行を選むものがあつ いのに、所詮は自然の感情を動は 力に十分の自信があるわけでもな は哲楽脳取得の經緯に不満がある

ての経奇器が深に入られとか、取一 るが當然であらう、然るに若し、れる利便があるならば、これに へスなり、安全に目前地に運むで

ーマンテイックでさへもあつた、 に随はれてゐた、有能にいへば早抱後は、餘りにも既代聲製の傷勢

際傾に身を委ねてゐた、といふ意

妮たらざるを得ない次節である。

節を命じたのである、既は子の窓 ある、かくて子の良心は、子に ふるの困難なることを見つたので

共鳴者を見出だし得たのは事實での中に、予に出する多少の同間者、 であった、それだけに影響き若人

か、更めていふまでもない、それ たら、その人の困ろした行気は果

つたのみであつた、彼者に厭いる 除年、子は自己陶酔理に過ごし来

る、子としてはこれを心境の態化 人々でもあらうか、子がこれを手る、子としてはこれを心境の態化 人々でもあらうか、子がこれを手

ば、質に卑しむべく交替なべきで

新生發途

に翻い掛たか、断みれば既往十有

一腹照証配のために、不敢比領力な 過去を清算して、我民族が孤貴の 此に於て予は大死一番、文字通り

(質慮ある物質品ぐらるに見てるた) 製版の 和は歌らくは子の従来の数号を以

総姓長は必ずしも全世帯の一部と るが一気に之を決定する事は容易 明光せられ各種の案がある様であ **吹さへ出来れば可能と言ふに同じ** たるか自ら明らかである、又年 \$P\$校、西哥、大學、期門校全 的の組織連絡方法に配ては多年 時に健談する結果は何ら云ふ郊 非らず假りに之を決定するとも

脱牧育の完成を国家の急捗と記む 延長案の重

「更年限延長の重要性を脱く必」 に優位を示す

発者との競費狀ツ

四歳の少年に對し之に適慮せる
以上請離の事實に微すると十三
以上請離の事實に微すると十三

を喚起し将來長く修養を持約せ

文部政務次官

本 厚

訓育上最も重要なる時期で共設 動的に轉じ漢語ながら己が將來 動的に轉じ漢語ながら己が將來 動的に轉じ漢語ながら己が將來 の改善より見て第二、教育内容

誰とりて之が徹底を知する事が

種より 見て 第六、國民參政

江水遊撃離止、整備防止等が絶
 田内のである。
 田内のでは、
 田ののでは、
 田ののでは、
 田ののでは、
 田ののでは、
 田内のでは、
 田内のでは、
 田ののでは、
 田ののでは、
 田ののでは、
 田内のでは、
 田内のには、
 田内のには、
 田内のには、
 田内のには、
 田内のには、
 田内のには、
 田内のには、
 田内のは、
 田内のには、

私の戀愛觀

一年、東京、小石川、大塚仲町金光さま(佐古信宜著)

の平凡なる主張を、間を過げ、段を一が有つ文化の程料は、それ る、加乙國交に信我を缺ぎ、倫道に 可周到なる総合の下に、内地同胞 て明かである、即ち東洋の観測た |のために無注されつゝあるのであ 目立自強のため、同時に挑他伐異 る日本帝國の國民として、その親 すら民族的差別を立つるに至って ぬ、勿論文化の程度可假く、經常に描する陰難を聞えなければなら 一 しき明師の民衆は、一 一 一

策を避つることは取職なるも、 政
死するにあらざれば穏々にその對 くてはならない。新かる國民語位 観察に動しては、その握つて来 因の奈邊に在るやを十分に考 第三、國防及產

には外年少女を経済に適せざる生

交丙酸は高小幹章人に関し三百 人でこの差質に三十一人である、 等小部省は千人に蜀し二百八十六業者の肚丁千人に蜀し二百十七人 囲も甲油合格者は高等小総枚等 業上より見て る、期待四十年六ヶ年に延長せる 営時更に八年とすべきを豫形して して如何にして實行すべきかであ 民教育を元質するの急路なるを思 近ては 『帝国的外の儒教に翻み回 牛脳変長は最早部盤の問題に非ず 大政治部首に従り翌十四年には之

第四、教育の機 會均等より見て

られんことを壁む』との希望決議

反し三十年の永さに亘り、

教育年版延長が日往一回の頭瞰に

民の懲利が著しく擴張せられたる め何文宗表法称定書返の寶庵等國 離脱退をឃ行し、國族に於て產業 衛洲事極以來, 國際聯盟及市組會

に於て國際上記も優勝の地位に

長するの国策を定め共制度を設け い政府は連かに義治政府手限を延

たる青年大衆の敬行を 政質の機會を均等によ 後国力継殿の機能に新じたのであしたのは明治三十三年で日清難役 るが更に六年間を賦行したのは用し 我國に於て義務教育四年副を賃行

て今が近米に無い最も良い難問であることを確認する

を断行するには色々の駆から考え りである、そして比義務年限延長

第五、世界各國 の實例より見て

二本立ての夏季設物、第二が「笑恋物語、佐夜情話、琵琶湖心中と

| 憲士 (九月)特輯の第

長院病原吉廓遊原吉京東前

明發大の生星生先榮藤佐

は野地上に孵むなりを観ります。

新發寶(普及品)一圓九十錢

円 電話四日 (一六人大都 全鶴 乗替の第三五〇一九赤 され現店 館館 河 原 商 店 由原数縣如如鄉村到哈

全國羅指にて販賣す。 品切の節は直接増代理店へ

特に舞指定できない

を合すが如きものがある。欧洲軍

改芸園は異常の飛躍さなし、数に

政治延長乃至補參数式元買し

解は恰かる世界競争後に応ける職 不列義のとりたる國策、即ち義務

界驚異の尿道殺菌偉力 敷十萬の全治者の例に明 新決根 療局治 法所確

勿威楽、躁性淋病に對し特質最强點

 ででは、では、では、できない。
 では、できない。
 できない。
 できないい。
 できない。
 で 中後に本郷の鰐の一風を用ふべし、未順に湘麓の極点を縛ち蹴じて窓場の

患者自ら覺醒の上本然の治療に立直しを促す

根治は一日も連かに淋病の進行性を恐れ

らば恢復し得ざる危險に陥ると

三、知性の發達より 勝形怒次節に感になる。

三九入少

學力副費の結果を見ると大嶝左

ロ、桁來の實生語に動する基礎的 敬義を十分ならしむ 國民精神の福澄を一層徹底せ

族の政治生命の概然的要求の数を、もこれは、予が新生山への上近には、民族的政府を骨として、既民一章、子は懷極級をものしたが、然か せる斑質の生活」を逃脱したるスーて、時代に過步したいと無護ふの一等分に落ちたる此のときに當り、 れば、即ち以て世に問ひ、担望る 要求するの意識に出でたるもので 記むところなき心理に於て、 たい、学は囚はる」ところなく、 族、我性質に置し、異に原料を設 によりて、能く我民族を三致 艦總なる同胞度と、不撓の認感と 不通の酸りを取るから知れぬが、 みである、不忠子の如きがかいる それは甘んじて受ける、但しずは一 大説を懷くことに對しては、自大 此に明白にして過ぎ 心事は、必ずや大方の諒とせらる るところであらう、されば我がの の質領は、民に心ある話の要領せ **嗅らして主張せざるを思ざる明確** 趣旨の陰頭に「世界大勢の動向と 向上の新運動が超らないのか、新 同が故に我朝鮮のみが民衆自らの 國民は各自己の要求と環境に適應 失當であららか、この見解は、近世 せる新聞動を起し、全世界が新興 を得ないのである。と聞じたのは 一千萬間胞の一大産业と気さいる

大盟に殉する登留である。 于が時中館の設立に参順したのは一我问题への最も適切なる差別であ かやらな決意、否念順に出でたも

時中曾 い、駅ろ平見なる主要である。それ通り、何事他奇あるものではな

イッ少年が献身的に欧衆に奉仕し これは職合國に包留された顧照ド

悪害。先頭が第一環題、つよくは同第二種の

波を切る『風景帝一年が故を切つ

佐藤仁之助著

21 川口松太郎 | 青田御殿

焼もの趣味 朝鮮倉坪県28億、古九のの地味(八月)

故に我が朝鮮のみが民衆自らの向 なられ、我等は間を設けて「何が 際カー向上の一途に精通せれば

うに駆はれるが、殊に現今に於て

本品の代用類は簡じ ギン・ケンゴールも 夢合名會社 プラオン 求めに際して日東製 てわりませんの 舞覧 ですから臨居薬には ケンゴールは特殊薬

八〇瓦入(約4-4月量)十 四五〇瓦入(約4-4月量)七 円五瓦入(約4-4月量)七 円 文 縁集(婦人用)あり御註文は御明記文乞ふ。 注意―の號(初愿梁と鎌頭用)寰蛇(急性用) 瓦號 慢性用)

戲選呈

愛嬌者の山苺熟る

鷄龍山スケツチ

なり流水型で脚部することになり流水型で加充で開設を開て、高度メス賃金用下で消滅異気 した のでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きないが、大きないが、大きないが、

散として江南町民の等しく開望し

薬都市化に伴ひ緊急且重大なる随

入時から武徳館で明証先づ李斗財選の慰譲霞は既報の如く四日午後

すべく狭態を励めて問題した有志

氏の披掘があつて企業専氏の建議

田大尉、兵国锋党郡民、小川縣信

立 も人目を避けて水安線温泉に赴い 近 たのも開脚部に関れて配慮を罹ら ではないかと観測されてゐる

水天宮神祠夏祭

れた京城総務監督局の方戦に開墾。営長、酒道組合長李原度氏と連立遺棄地を設立することがなり、こした同島十文字観が四日多田報務

原告側から訴訟事實を影神呼逃の他市民の傍聴者がかつた

| 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100

所級的を加へ

るほぼはは「大手が中代第一回口 手取り清州法院支藤に提起した凶

朝い酒類願謂聚者を様すとする語 酒語原料組織に關し早級的を加へ明心と類語酒語の理解から管内 を占めたため方針に懸則を栄し、 【清州】既報、脱務署では生産合 | 頭天氏が京城郡務監督局長の椅子

局長、大河原常嗣長、西田魯

ら伊藤夢暦少佐、巻曜本部の西 直的間で別能、観台思想司令部門が最は四日午後一時から釜山 三二輪登川製造塔に組する

能出版所長、金子無信局主任、府

關釜防空演習

通信打合せ會

果村間里海中部紬路切左側約四千

記する機能性は十萬回以上と 師の地に脱立するが、途壁間

行を避けて密議

明節長来明三月年後増主との振聞 収のため本地連行品から管島省

忠北の水稻

巻その他十数名の驅躍者が強合、 し流州・最殷、沃川、飛陽寺事内 受売例景を続行、顕露館では午後一般は、周問から朝街見起南館戦代一域、忠州・歴川各部内は重星派7 | 貯水池の守護神たる水天宮理劇の

は未完了だがいづれも九間九分の一と時から江畔で家族大陸遊院を明

艦の割

植付けを超過してゐる

【浦州】思北道では九月十七日か

【智慧】第二十邮数时令部的辖山 密陽の檢簡點呼

が限期、これに端緒を仰た仁川器合からモルを手に入れてゐたこと

中級語で府内花房町翻葉館、微世引数展調べたところ、何れもモロ

でたのはたとに補垣のみの悪政に 間の駆行に遊行するこの顕縁に出

裁判長の和解勸告

測候所と向ひ合つて建つ

邱無線電信局

割を行ひ時即機軍人物神を大に融 人を指案し野祭等権内で監呼と破 来者、三十日午前八時から在穏軍

原料に入り時期に適切な数計

表示した前項目蔽の節奏は選来り「連項」水道問題のため總辭職を

除に亘り元老連の斡旋も自民全門 たことは脱穀の如くであるが、

月尾島の浮

兵兵大佐極野執行官は二十九日

水源地も起工

邑長は猛然反對を押し切り

浦項上水道大詰

つと用地決定

送、受兩局とも敷地を買收

川府政振興會 四部門それと、役員を決定

各部毎に問題審議

市太郎氏以下大氏がそれと、問題

と題に調査の手を起ばすと共に節一府民財安一六の限日選をは版内にそと問館敷があるもの一章城番券の「大郎」あ

第一回官合を明確。 金融支所設置

新事業の實現促進の試運動を問題しを抵命、避行或監域機能配鑑に対し四時から、海洋氣氧態素は動は七一したが早期買现が期待されてゐるは飛鐵の前近に光明を転する四大一次難に基き青田動長は部門耶委政。任行政監域搬票委員會は五日午後一艘最合支所設置方を重常局に映情に出] 近報、「川附続振興會で一寸ることになり、さきの役談館の一の解決にあたることになった、な」【表同】上行画記有志はこの響金 邑議の辭表は受理

たる非難をあげてゐる。中村司法 し、そのため干有鮮の民衆は選々 金はそれに對し、再び歌起、こ で発那連中に断手たる際阻を下一 のとみられてゐる

おり出数日派 | 一年の第一年

雨で丸つぶれ

馬山の催し物

仁川商業 心勝を明し 心勝を明し

生物學より見たる

生殖の神秘

行あたりは海に壁に大阪ひを呈

0000

日動車裁判

るが天候回復をまつて第二日曜の一途に上つた 信心何れる器(中止し特徴中であ

部員まく中にク心的々を記つて肚

安い賃金

員タク出現

大と二里も三里も鑑れて同でも、「貞雄、讃歌もあり、芸術は南心報客」の本は、郷の木が、郷の「になると

目分にできる物理療法

男性器 發育不全一

値下斷行の前提 釜山の業者大

現受罪法院へ控訴の手段きをとつたが、同此はこれに不服を貼へ京

例する新灯楽者が出現し五日から 優見され、流石に姦姉も世間匿を東衆准書職選長、笹山間二回を標 れて来た漢夫金と飲酒中を平夫に 提供されてある折隅、府内五十銭一二日午後四時ごろ夫の留守中に訪

監索、推整職過最、登出問三回での前性ソースに、生命 てるるが、これは皆局が精金値下 幸町で開業したので、府内五十銭一恥ちてか、欧邦場に厭込み洗飯用 するものなれば前としていかと観られず、単位にいのではないかと観られず、単述前のな中医師葛保線環境書は一様に立いつではないかと観られず、単述前のな中医師葛保線環境書は一様に三千二百五十六代、一千末現在で一手九百五十六代、一千年では、「日本」 するものなれば融戦は無用の長端 節は東京自由學園西島氏

【釜山】 府内のタクシー値下げが 一と加齢係を結んでるたが、去る

前科一般院委員(でつの四名に常に | 江に起てするに決し四日出面で申

科二犯孫加及。於同李相哲("6)同 選続を行ひ水源地は歴受動の兒山

モヒ密賣男

日下村伯長は遊の方針として日に

西公園内を俳伽・撃動不審の廉で「静したが、去る五年即施行の自治

夏を目當ての釜山商人

七日に過ぎず、麒麟しい朋欠ばか

清州の邑有地貸付訴訟公判

して早くし江南地域では初に選録

つたが、中村司法主伐は、これが

次回は廿五日開く

解散組合に對し十二月末までの清

りなので一緒けを置て込んだ個内一直並の理時にほを辿り、一方組合 月十一日の入職以来而天は何か六 | 令だを略して組合員たる于有解名 【華山】天峡不良間さい釜山は六一古の思線な駐部は、當局の絶對能 天を睨み靑息吐息 総に訴へ強調医分に附し崇押へす の無知識大脈に對し高利を耐した

立候補の顔觸れも内定し

有金単は何れも歴史

一類は一種が所別立にたって一個は暗町番

作でいあるのが顔似された

村役場書記公金拐帶の

職、機能器整を削減し、機能を開 費ひ、™ O 叫○、陰G、星動致

一般現して、生一部が派を指揮

ユング作用を

京都が開て、服力部億力 発展するに要れば、現職医水ル を2の所が割も貯蔵になるから、 東大の所が割り、繋が肥素が、圏

「脚るくなることを苦こび、好話日であつたべも悠徳になって人生が

智者 人はとかなあり、金田を

し手塩金加二個

西流流にたが

ので金銭の被割

に四日午前四時生える、種流安 【清州】本町一丁月長春紙物面路

怪盗の失敗

ダ液を嚥下自殺をはか

神田して、近世的の物理療法 中田して、近世的の物理療法 水リック資空水治器を 水リック資空水治器を

織の功能なるに総位し、恐動は小を行づた人々は、本語の理般的機

空の金庫を

二箇ぬすむ

→ある模様で落阵定戯三名に関し、断技も縁加して土師知事以下各部の諸氏がありその他二三の野心家(午前九時から遊離で毎山土木出版) 相當混亂化を豫想 長、土木、保安南瀬及の館部、 基準とした制策打合館を開催した 萬金の備へを眺めた関南では四日 合明和八九年度の水野幽急施設を

た、同窓から徳島客へ照倒中

作かされ公金二百回を指型して三 品が近八太二の役名は胡州船に

南北に掘へられ

釜山で御用

昇降機墜落

【清州】郡內置二面尺山里石原國 病院で死亡 新店男往八日午町十時五十分珍様 分数別車で家庭前件、後七の山本 「差山」大邱忠監司技に突破した 土富削店野は十日午町八時四十五 「差山」大邱忠監司技に突破した

影響の影響工作のあらばれとさく

に出ようとした融機械の故跡で昇い風内での作業を終り昇陸機で顕外 山崎夫権担任つしは去月廿六日孁

至山】帝陸の脅威線島開展来に「であつが二日午後五時頃産に死亡 質ひ直ちに満州常院に入院手當中 命地方製質局長に窓輌した制度・字野氏送別會(馬当) 老會「清州」を含った。

道の幹部が 釜山で評定

上午から小型技器状に開催 大変野安八氏の窓開館は来る七日

通信は神聖なり

電報通信の刷剤をはかり

江南の有志永登浦に曾合し

熱心に發展策檢討

市に得るだけの保安等数として 、地下波附壁へ永舎浦町道外倉 市のでこの際湾防自動車の通 頭の一大鼠壁となり砂膜を駆止。をあげ真行を委成と一任し委員は するのでこの際湾防自動車の通 頭に運動方法を練つてそれん(瞬 行に得るだけの保安等数として 窓番音に単純計らしょことのと

型に運動方法を練つてそれと、開ニストな言語等の理事に運動方法を練つてそれと、開ニストな言語等の通り場合はせををのけま行を委員に一世し委託は、デジーオトルニュールのように対しておりません。

一同はその使命の軍大性を飛躍職

行ひ認信務時の翻提に週週するこ

電計製長南氏に對する官民合詞の 養神の山本類並山府寺、原本本府 版では四旦正午から公會宮で今回 版では四旦正午から公會宮で今回

別者を自転制限に招待し懇親妻を山口昌長は二日午後四時在統新開統一登邑長・張安 【疑い】

午町十一時五十三分着列車離一郎氏(馬山道立座院長) 會合

登錄商標 博覽會名譽金牌受領

ホリック翼空水治器金五四総の間五五日

◇無 (非賣品) 圖人說明書 星

○佐め デポリック 屋子水 前部をお求めあれる 町台 東京市 磁

京新療法研究所

▲宇野友八氏(大邱地方平貿局長)十十月頃赴任出設の豫定

ピード化を繰り殊に機上事論処人通信に當つてはその正確とス 人妻服毒 不義が發れ

地下笠 開墾の實現を期する こ ◇實行委員地田長光郎、木下奈、 とらなつた **斗用,手贯常五脚、荒木健之曲**

志 一、電車線浴延長(大宮域の繁榮 策から見て電車線浴延長(大宮域の繁榮 で起長することとを表したり表 管調可まで運かに延長すること のから見て電車線浴ででで で記するでするが、同一路内でありた で電話市内紙)(電話台筒側数 ではなべきが市計量令を供って の電話である。 の一路内でありた のでありた。 では近方面市外線特際調増 がら餐業単方面市外線特際調増 がら餐業単方面市外線特別。

(本词頁) 鈴木文助 (新吉町) 水下 榮 (居石 町) 地山良 次郎

なす懸案

解告の監督れとしてあげられての「京すべき形然であり、あと」 温油 下作を戦かつ、あり、すでに立阪 「京侯神器は九七三倍の十名内外を 明することになるので、開催了作 主盗し早きに失せずとされ一部で

 躍の真びやうだ

來年日本府直接に 日寧都計の調査 橋花道部部地に駆燃し飛性技手を「関五分、作付面護は田面蔵に對し「米倫(1〇三號)の二些と窓壁し「長端」即では九年的から太路の「の神及状態は部内認及立戸敷の三「棉(早続糸」:「「八四號)及び在「長端」即では九年的から太路の「の神及状態は部内認及立戸敷の三「棉(早続糸」:「「八四號)及び在 祖いて権作製師に努めてゐるがそ「三分にも遠せず他作物に比し遙か」計劃完成後は反當百五十斤、 水道と女學校問題も成功

大将閣下尻からけ

鉢卷姿で盆踊

咸興でとんだ逸話を遺した

われ等の新總督

契約が成立

助んで遡き出す、源は波に浮かし に海瀬と二三尾おとりの秋刀魚を

上乘の首尾で秦邑長歸る 會能都計の調査を直接開始する 4. お知成前ではこの職大々的に鋭いかられた所でも態と來年度には が知成前ではこの職大々的に鋭いる。 が用成績ではこの際大々的に祝か で假睡中の二名の労働者風の朝鮮 か頂側である、兩人共三十歳則後 **展與井上階院に搬入手営中である** 人を認め急停車したが及ばず一名 咸南の 単位製傷を受けたので同列車で 小麥共販 豊國製粉と

地帯域や生作物の豊及散域によれ変年産額は四王石に過ぎないが高

の契約が成立した、威南蝦在の小

虫のい

温頭と坂田刷起頭は三日午後三 にまで擴大せんとする形勢を示し | が、福田野長、阿薗慰頭に對して

の類目をはじめ京城から多数官

に召川の貨削組代のため本

組幹部も驚職

邑當局に對する不滿爆發

混亂する羅津昌政

ろその被害程度は五分乃至二門候 一八月から、この程蔵南道郷に **砂微なものを仰々しくも** 質地調査を行つたとこ

職に止まることは

巴民に濟まな

辭表を出した田口羅津邑長

悲壯な心境を語る

脚3 四日午期三時十分、城南 一館合で決定した

を他次民に數値することに三日の

外月までに

を提出するに至った、値一その他に際し母医局から消防脳の一部成形部十五名の直知事、関するに母母が所新業落成式懸行

習長を訪ひ、正副組団である。右に至るまでの紅顔を仄

かつた南新贈督への明明な

の脱因とみられるものは左の通り

|韓田(中)北京の道数材料。|

なほ帰む出入各部門に於ける増減

入二、二八二、○九三 (二、六)九八二 (五九四、一五〇) ▲移

任, 七六二 (日, 四八七, 三七人), 四六八) ▲合訂三, 八四八十, 四六八)

要放するに至ったものと

敷日間を踊り拔く

に起因するものと是説せればなら

るに至ったが、節表提出に既し左 代表十餘名と會見後、三日午後五

以外に局部版にもせよ、都計工事「経達」今回の水場の版因が天災

懸案の券番實施

より紫香副を實施するとになつたに成繁を思るに至り來る十二月賦 【新羅州】國境部市新義州の参番 【理店に練蘭してゐる新義州醫技が | 保つてきて食べたところ約五時間 年末から自由に藝妓が呼べる 制度改革に悲觀論

って新と辞肥殿村には事飲かり

市津貿易

卅六萬圓增加

んかけて高原水利組合水路の場所 野を持たの影響は昨年から今日

』」農用が地置成の新工夫=

一鉢面今水田外六ケ部洛の

側に一石五斗の歌の質情遺体を た、この面積十五両歩に建し

不してある(指揮内は創年問期分

清津の准祭―満船飾の機船(齢)

疑能は左の如くで前年同期に比清津」七月中に於ける清池港の

制によって府内の各种理点から自 從来抱へられた料理層にのみ待る

春極方でもその群を食べて中欲し |に配立を含ぐ志泉試験暑職態は豊||右の襲慢は自力により悪泉試験子||ても忠泉試験を行けんとする腹果の副質向上を願る含地元敵曹部|| 決定上近く買戦する手割となった| 同道三日太后に赴いた、太府と見の副質向上を願る強地不能を減南部す|| 孤関郡大代前、隣谷南の二ヶ所に||巻べく足野技師は地方説水野駅

試驗場

敷地決定

龍岡郡大代、

陽谷兩面を選ぶ

| 記載経のため羅理へ

虚弱體質 血壓亢進 重弱體質

百小

十八四門八十五個

諒解得べく星野技師ら上城

を取れる式の仲代標準を続けたこ (総造属である、なほ同日同里の李が、むしる整管総置といふ即上屋、次男流纜(Ta)と研の整蔵(テ)は生 (総造属である、なほ同日同里の李が、むしる整管総置といふ即上屋、次男活躍(Ta)となる。 に一層加重の結果を指来するので

等を設停的戦略する方針である。 あり際民選型内では既打男女の最 自紀配料の増加。作台直接の設立 道訓練の密及に顕すべく記述中で

四六號遊台列車が不山起路一五三一段音の小麥共同販賣は豐國製鉛を

マロの日辺西湖津間下り急勾配に

清津の漁船

續々出動 復旦氏所有旧者能の職した問義に よれは高角は盛十四州に目書語様

の各機能は置く出強し始めた。

鰮油の入札【屋コハ

に日本西丁酢酸所に對し加入方を「清津」面丁酢酸所では去っ五月 日本商議に加入

はあるすいかと様々に案じられて(月分醫師不定量は三国八十三〇章)から通母があった 申請中のところ西丁省から七月十

【清津】回游狀況が變だ、不識で

巡湖漁塲の珍景 果特選以下左の如く決定。 因む店頭裝飾競技大館は審査の 【清津】西工資語所主催の無受

魚を手摑

一人で一日五六百は樂々

特選 排不百货店、高田是服

有馬方の住家と倉庫各一構、山中 花電氣西會、中村洋品店

世常が合生作物の書及試験によれ、「展異」例年立ら見向さもせぬは、中に得済せら秋刀魚はを幸福みに、西海池市、有馬倉氏方倉田と隣接、位別作面積一貫可歩、その牧地県、一般近周治は秋刀魚と明か比較、動などより無端が果能で二人が、「有馬方の住家と倉服各・棟、弘中、都六郎石と後定されこの習及結論、簡潔論でこれと職間にしてどしど。り一日に五百や六百に擅める、職者の決定を倉服各・棟、弘中、都六郎石と後定されこの習及結論、簡潔論でこれと職間にしてどしど。り一日に五百や六百に擅める、職者の法を倉服各・棟、弘中・ 本子 はいかっぱん こうしゅうしゅう 蘇聯の自己宣傳 我政策をこき下す 反日通信祉を新設

御に本記を置き、ロンドン、ベル ン、バリ、モスコー、常島、天津 鼠をもつて日本の大陸政策を 「東時局の重大化に懸するため 一干一百八十本上因し五階六分限 原即の質励成績は本年の植芸計

老年期(五十歳)

ユース・エゼンシーと弱する大 窓は既に北麓の土地上事に着手し 興服田組に洛札した咸南道即曾語 た入札の結果三匹五千九百四 【咸興】去る廿八日本府で行はれ に遂し全鮮の道路中第一の規模。 上二院姓、延二百三十四

きた體験記

早老を脱却した喜び!

百国の教師金を極田智技の手許に二日前継建設事が所有志から金二 【羅津】未曾有の水禍に見碑はれ オリムピツ

大野善作

たが光度中の極度者を数出すべき

短することになったが、これによ 【前題】殖蝦支店では今回果以オ

ナル前願司令部では七日からナ劍(術)土用。福古 「雑萄」 て三年間年月一定の協金をして 服用し始めてご 院員の吹き込む窓が取し、が幅く、フケが無くなり

咸北辭令 (卅]日的 鏡城高े同窓曾 日本り最計成当が 日本り最計成当が 日本り最計成当が

を設めなく、 以深は発ん 配工、酸分型

日配掘し左の如く誤った

【威興】本年度から増殖戦跡に岩

桐樹栽培獎勵

添を帯び新設州に出張中であつた

【半年】新設州電温吸収合併の用

西電の新電合併で

吉田専務の歸任談

からも當方に機耐にやつて來るすまいかと思ってゐる、超減州

有機性沃度劑の創製



の今こそ

耳鳴り、眩暈、かずみ眼は

壓亢進 油斷のならぬ中風の兆侯です

野宝 Man (出生よら八ケ月経) 小児畑(九ケ月より七歳経) 少年期(七歳より十四歳ら) 少年期(七歳より十四歳ら) 人・生すが、耐家の見方により

の大册認識 絕對健康法

阿英治先生著

無代進星!

はゆる億利敗といふやつで、

歌を受けた所、心臓が大峻肥大し歌を受けた所、心臓が大峻肥大しなり、降いて野師の診が結婚するので、深いて野師の診が結婚するので、深いて野師の診りに、一手を戦力をいる。

速ふ度び御好めして困ります。

ますから全身の個質を強制と傾め

て、耐液を活動ならしめる作品をし、病疹素を酵用し酸外に収去っ る治験の徹底と無尿河温の大理想されの治験がないて全身経済は軽なあります。つまり局部経な一時お 積極低に作用さかけて、病菌を殺のつかない病態部ませも崩立なく の、源、に対述してどんな自分で異の。源、に対述してどんな自分で異ない。 のであります。質疑型点感謝状の側壁に成功したネオス・エー

ま込む感が致し、の脂肪過多に陥つてしまつた。い、 を面めてある天のである。

「変意」大手山三七男 のとなって来た。 日本院で観光 本の度が嵌水準にいれて、適度 する所なく、ネオス・エーの服形でかが無くたり その度が嵌水準につれて、適度 する所なく、ネオス・エーの服形でからなら、 の度が嵌水準に高いたに領を増み 配子の形式に燃き 子の形式に 大手山三七男 のとなって来た。 自己程院の友人をする所なるというとなる。 である天のである。

る吹節である

仏殿製品自該自給の大筋を終して正抵別進日本の化型工業界を開步すを巨人として審整知氏の名は當代事業家の一大風彩として 自産自給の大旆を翳 國策産業の完成に邁進 近世日本化學工業界の巨人 称矗昶氏の風貌と其

思る。第二は電源関策に依つて、産業を開鍵し、それに依つて近き辦案東京を世界終漢市基の中心とし囲をして世界を支配させる 準の殿料化は之れに彰足して居り、晋は除綱軍力の服料化であつたが、今日では凡ゆる策力の限料化で行かなければならぬとして 中や内外に殴れなき程有名となった。氏は昨に人の知る如く、弱神鬼政の避性と近の如き追脱を備へ、配するに然々たる至<u>級報</u>國 **爆撃すれば大型次の如きものである** 上の如きは近き勝來世界化療工業界の別繼を築戦するものと期待せられて居るのであるが、今氏の統続する事業中、三三のものを に断風調帆、転倒筒好成階種に業界悠異の焦點となつて居るのも亦故ありと云ふべきではないか、就中氏が最も主力を注ぐ日本龍 と云ふ事であり、第三は仕事に認むに當り毎日挺要摘身で行く、武士が飛場に赴く須持ちと同様、仕事に向つて再び生意を期さな と云ふ事である。其の理測の如何に拉大にして、其の闘志の如何に旺盛なるかは之れに依つても親知し部るのであるが、氏の巨 一依つて銃率せらるゝ各地産業は何れも開業以来共の問題なる計造と旺盛なる賃行力とに依り、一として推済せるものなく一続 念を以て國策産業の完成に選進して居るのであるが、其の座右の蛇とも見るべきものは第一に利用厚出、産野利用である。恵

世界輕銀界の脅威となった

朝鮮産の明礬石

避進日本を表徴せる

は、國防工業の確立といふ事は、 中の出来ない重大問題である事は は関列野ともに寸階も忽せにする 到下の国際的非常時間に鑑みれ」ものと見られてめる程である。劉 | 資性を備へ、之を動かすに称々た 例は一二にして止まるものではな 事業条件中の知彩である事は、今 ナモンド、獨のイー・ゲー、米の || 新学島が野家の漫画に貢献せる事 || る老級報機の | 一窓を以てする當代 || 化地工業の盟士として、英のブラ 著なる一例たるを失はずと職信す」れば削速のアルミニウムの外に、 いが、斯の如きは盗し其の最も顕一や内外に弱れ無き定跡である。さ

重の如き語版に加へて窮往果成の「立し、化聚警路自産自給の大旆を「いか 顕指を以て任じ、其の創立者にし

日本電氣工業の勇姿 **産される開業関加里、硝酸的球、 同館のアルミニウ・同館の多角能經營主張に基まて生」のと期待されてゐる** 界の馴椒を作ぶ一大勢力となるも

滄海を美田とする

質城嶼業株式會社

注目すべき合理的經營法

は、實に嚴適日本を象徴する好職つて難り壓路を開拓しつつある事 激して、逐次従来の輸入品を掲述 の一シュボルそのものである。 すると共に、才を聴じて海外に同

メロン・トラスト等を指抗して世 ら之が實班の期には名質共に我国 の擴大元貨に死める計画であるか

一颗して輸出幽たらんとしてゐるをなし、短陽日の中に輸入國より 組工業と共に近代化學工業の双壁。同心は我國に豐富なる電力の殿 那進途上にある化學工業日本は人 × > でその金額は年々敗于萬面に遠し 迄の我國は世界最大の確安職人国 るから、警察肥料の消費店は他園 に比し極めて多く、故に放年以前 由東្親国は高度の集約農業国であ

ニア水の形にて壁弾軍艦協館起其の外、液化アンモニア交はアンモ

る。川崎丁温では確安の大量生産される登定で目下岩々建設中であ つて頭に七萬頃の増産制強が完成 現せんとする 萬金の 策と云ひ得や 西に具へ生産性低下を合理的に具 力、コークス何れかの取特質格能 もの十八英雄、水性夏斯法による 萬城であつて、内水電解法による ある。製造能力は確安年度二十七世別したる本部第一の確安工場で

前今年中には水性瓦叭法によ

代出版工業日本を認らんとするたの。最近の撮影を見るのであるが、近 我國には既に十指に余る硫安型造 反し、唯一つ光祭ある日本武東京 の合成に外國式特許を使用するに のには右の十数節批がアンモニア 灰空素年産十萬圃の能力を有し、 の下に昭和三年十月創立せしめた まとして石灰空素、カーバイドの ものである。同館批匯湖工場は石

る。却ち燃素としての國际西原の 解決の題、開覧としての繊維及ブ 雕像・警光を持をしての食物問題

| 護者を示し、今後も若と上籍設備 | 渡を加ふる所以のものも此談に位跡、保を推し名国に十二編の布師を敷く | 工業の職立のために既は燈跡、保を加ふる所以のものも此談に燈跡、保 道大なるかく認識せらる」であら 其の産業界に於ける役割の如何に

力供給離社更信電源との共同出資して昭和三年東京電運脈にその電 が、顕是としての電楽工業を提唱 治すると共に海外市場への進出に 治すると共に海外市場への進出に 化をその顕紫哲學とする深語地氏 備ふる昭和肥料様式密能を語らな

製造を行つてゐるが同工調生産の 年には屋道式アンモニア酸化法にく大瀬に供給してゐる、以昭和十 販して

る外頭

産アルゴン

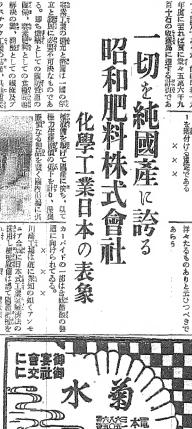
瓦所を 工業界の一大路異とされてゐる。 影げて、その加速度的謎既は化 社の斬新なる販賣販策と祖民つ 經遺し本形電球工業に貢献するな 依る前面製造を開始し既に置く市 品版料として合成アンモニアを版 ど其の証督に於ける積極政策は同 他或多化學工業質此个化學工業學

の事業 年度に至れば質に覚々五萬六千九 する漢定であるが、同任昭和十九 1を握付ける確定である 結果を使って最新式のドレッジャー途は森氏の大手腕と相関って誠に ッングを行ひつつあるが、調査の 正進して居る。 目下院水池にボー

ほか同社は野城江一帯の砂金圏區 層遊灣機器を貫流する經域在の理一、之れに依つて一度利用されたる 用するものであるが、それは全羅 品なる水利を引用し、電影に於け 9唯一の水力部取断である。 この たと云ふ事になるのであらう 干和地震政用的水池の導水を村 機器し、大規模なる探金部派を一 の部軍事業は前記の如 の比を見ざる所、正に一石三島の

同仕事で五萬七千石の大名に列 合理能經營は全鮮何れに於ても其しむるものであつて、新くの如き に導水の如何によつて**証**唇の成否 に導水の如何によって**証**唇の成否 能し、財政配の如く先づ砂金銭取 の鮫路となるのである。然るに同 慶水を與に張歌出水として世生せ を信し、次で水力だ江事業を含み 社は鮮内唯一の豊富なる貯水池を

も劉城のその如く、同戦を業の前、危機高經營法と斷ずべきであり、名



切を純國産に誇る

あらら



宮内省御用瓊・味の森本舗・神科・鈴・木・鹿

がでアルミナ龍に制産物たる職量 水池の群水を利用し、水力県高格 かってルミナ龍に制産物たる職量 水池の群水を利用し、水力県高格 まった。

時三千百キロワットを配住して

同心は比の代が武士の完成芸に

何であるが、更に共の提出するア

昭和五年より起工し、水力記述工 一方除刺電力を他に樹竜せんとす

発行して行く所に森蓋認氏の疑如 であるが、新くの知き大事業を見 郷和五百萬国の巨関を投する意思

能して同批選完成の場には一筒

環境工事の状況

るものであつて、此の事業は去る

興年监製額の大半を光してるる實 丁場に於てアルミニウムを製造し 加里を 殿道し、題に長野縣 大町

其の年隆加は七千融に逐し、

我

業権式舞戦であり、現に同能は第一つて一千六百二十六町歩の美田を

のは、他人間知の如く日本記述工

(前段に輝しき先標を削けたるも 是配料として同様アルミニュウ

海面、面近二千八十五町歩像にわ 城面及び同道原典郡大西面地先の 、即ち至編度近に採那得級面、島

たる明立子がを賦行し、されによ

即も配の頻解より産出する明礬

見逃すべからざる所であらら。共の一つに取上げて居る事は地底

る像大なる事業の一つである。森

* 東京出版所を東京田京橋庭 賀町味の楽ビル内に設け、資本 金五百薫園、泰漁迦氏質帯森弾 氏代表取締役として經費の面に ちて正ら、

町歩の大貯水池を造營して、之築堤し、更に縮水面積百七十一十四間の防河堤の二大防河堤を

長

廣島縣豐田郡東野村

京城府南大門通

昭和鐮業株式

朝鮮出張所

き、東京出歌所を東京市京橋區を加西海中里二、三三二番地口置像血は本産を金融関直辺玻璃得得出いる金融関直辺玻璃得

ば干布すべき海面の突端に干五金に譲るが、今其の概察を示せ同ば計畫の詳細は之を他日の機

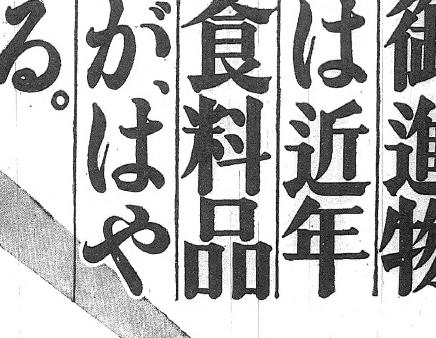
の樹葬石が倒産アルミニニウムの

『治海を癒して美田を作る』刊版

旨してゐるが、就中此の朝鮮産

最近朝鮮の事業がは風俗の活







ラソン間近く集まつたユニフォー の競技を終つて午後一時三十分マ

しい風景を見せ、至極関版な平期「魅つた一同はマラソン塔の下からて満く三回目に成功するなど既は「奥三麗手が、號館」成トラックを

「ベルリンオリンピックスタヂア

四番目に進む

であるが、麓女は午後一時三十分 ホフオールスを折返し點として同

(日本時間午後九時半) 参加州

日鉢卷の奈良岡選手

怪し空模様の中に

京良間 スタンドからの製造に、

手は第四位にあった「頭吸れ

米には八百の縁城を一般霊辱せんと中村、背地、宿はの三選手道んで出場、光榮の旗竿を揚げ故図に

侵銘があるのだ、帯る窓碗は愈よ白熱化した、我がជ必勝を御しての 解高速は果して大江、賈田、総龍日本の梶償を窓押し、初めての 日常飲を慰げ故園から輸出した網遊綵を窓流せしめた、けふはベルリンスタギア A五日問盟』ベルリ ン玩弥グリュネウルドの 器に腕骨した大速 按第五日日、眀

【ベルリンオリンピックスタギア

惜しくも失格

▲五月間型」投がホッケー代表軍

響く一環機勝原船の意識を示した

圓盤投決勝

Mベルリンオリムピッタスタチア

我がホツケ

輕く米國を

優勝候補の貫祿を示す

病の方へ

と急性の

ጟ

|米競步にゆく

五日日

しみるやらだつた。午前の高

の三選手は標準高の三来七〇 をともに揃つて一回で軽

=
国
は
は
上
か
ら
西
田
修
平
、
大
江
李
雄
、
安
達
清
の
我
が
棒
高
跳
ト
リ
オ

つぎ~~と消えて行く、我が奈良。歴度編パックストレッチから出聴」は四番目に出聴した ▲五日間盟」 五萬米競歩コースは 融となって進み、我が景度問題学

けふの種目 ン式レスリン グ酸退

IJ

六位を獲得

メリカ十一點、伊

て第一日の五日午町十一時十分前 脳関、京城間五百五十粁の空のコ

ースを一組に往後することくなつ

であった我が背地選手派に第二組 干五百米像湿涕一組に出場の豫定

千五百米豫選某權

九米二三4ソルリー(ノールウコペヒヒエルゲル(併)四十九米三

直航飛行

樂々と成功

ではサメナ

2ダン(テメリカ)四十九米三オリム・ピツク新記録

ルグ (スエーデン) はともに四十 録を示しシュレーデル (濁)とべ





主命注意ノ西尾南店 のなるから

杏粽 -1

宮帯原稿 塩井醫院 淡豆豆类的 TE deserted





土的十 包状衣上

東子選定六













Rec. I Gar.







園福酒

見りますへ

天然の滋味と 溢るゝ

興路方面の

取締に非難の繋があつ一について嚴重取調べた結果感外に

氏の滎礴を配ふために道路出版 たものもあり非常な疑問であった

語航等の餘奥の中に乾杯した (登眞は司忠曾) 射撃大會に

るれ売らかく効く効らかい食

本中等級校別整備質手配の下

泉商の活躍

格爾県 別八円 特六円 グッラド田有

明さ、心臓は関節に発の形を発症の保力を有する内地人を発性の保力を有する内地人を発して四門全接 特別等贝

熊商業則:言所

べる事がある。とて語、常習者で

た男『自分は西大門碧地球の承認 変けて来た、李島植について調 五日、佟京城敦鐵町大京族館を訪

を調べる男 欺いて宿屋

版の単葉の常の選手の、その結果、たつた は毎年東風の常の選集の、その結果、たつた は毎年東風の常の選集の選用できずらめてある。除風の電気選生類な前に一々驚懸 のも、下のでは、下のでは、下のでは、



特に **商経**人版 病 市病病 部品築社會名合証藤武 屋古名

調度を行つてゐたが、このほど調

約年分が収容されてゐる、これを 大東七子三百二十五名で 並閲覧、

坂田氏

航空廠入り

京城本町客では関内は「い」」出

四郎式行場役にあつて開発行士を「名=を解説と非識、讀者町の空間郎式行場役にあつて開発行士を「名=を解説とする七名からなるチ

した。これによると

漢部に数字を応してるる。

我選手でラソン練習ら向は孫基耐君前は鹽飽君

治成し起と第二次朝鮮人初等教育の一面一般計出も既に本年を以つて

の増加人民は野五子九百五十九8 | 目標車で乗ってきた永徳浦穴推薦をしてゐるが昭和十二年度一年起 | 青浦から配置 新羅で震撃進からをしてゐるが昭和十二年度一年起 | 青浦人の延續する自動用が入

十五分京城畿州州で落両門平地山

で共に制然は影を極め七月中赤用しない表で、殊に一切的内の赤利は七月米田季に入れ、権病者の九朝以上は内証拠を服

知識階級がその大半を占

総立をさめた

豫防薬をのめと努力

今年の希望者三十三萬人

八學許可はわづか五割强

(議行政年制推論工職業、選案 女 手六 千二百四十七名計一萬二

その大いる一萬九十二百六十二名これに到す

鼻咽喉科醫院 戰

今日の天気

ち皮神婦胃

漢江の河畔で

たせもれ 一裕できく 虫に 温泉薬谷薬店デリ 元 ここさわやか!

・ 加町一ノ四・ボーニュス番 ・ 加町一ノ四・ボーニュス番 群接拳本人真接来院の中人個医 のでは、1000年の中人個医

一管内限弁五戦のカアエー、バーを任しげな振舞ひをみせてゐるの

亦痢を防げ

探 用 學格員中學學校之業

れてあるため、夏荷れの即今、牧・保郷を呼出しその不能合金盤重成カニーでは定館以上の女績を雇人、送堂なもの一般を観場、五日各職政績も事になり、総近熊眈を背壁、多数の女給・を解消して東緒も事になり、総近熊眈を背壁・多数の女給・を解消して、たので、総隣警長航街と採に歓呼 も定録り上に

直クレヨン

カフエを先づ槍玉 今後はビシノ

解析一手收破 京城旭町二丁自地 勝師一手收破 京城旭町二丁自地

本二 クレヨン

世界の鳥人十九名

たのため他店と卵上で変数ます。 京城所古市町三五番地 三 澤 商 會

に出生した我が原田、大江、安

い個格大柄は外人選手に比べてス

我トリオ

MICOの銀の電流水局至01三番 小林叉七朝鮮,地圖部 回販賣元は(型録進呈)

Ŀ

龍北

握ってみると、一つ盛に頒

平香交 大员 ▽塚

五段 ▼ 建 塚

闘は近一金笠の局面

▼建龍氏

急に植民地の殿風景な底ばかり **満つて腓肘行きの底に出て來た**

関も、丸分九胆等は中村の金の 一日覧けてやつた碗でもない

の見さんにも、それから貴方のい

てお述に一度達ふてやつて長れと

不紙一萬號配念縣資小說二等當選

度初の大きな機能に置いて長い

佐田は、現かに不快な顔付になっ

同凹時ニュース(纵象通報、登 開鮮融資金前阿知和宏朗財産産後七三〇

オリムビック大宮放这時四〇分(伯林)第十一回國

そこでこの際人の歌めもありまし 義太夫 終・霊

晋野口高會

美濃屋の長)

野澤勝三

師技局信選

分十五吋十割午 雄嘉崎松

(五)海錐の話等々(以上海の語)

ベンシ

(LL規の應察者全部へ進号) 裁優美 色シャープ љ — *

· 端壁壁囊 阳和十一年十月一日前後 中国中国市场 一日中区流域学,改造是 一日年区流域学,改造是 下次社会)立宫市员(商店 超光道,迈宫市员(商店 ・ 選り先 蜂ブドー酒本舗 東京市日本橋屋室町 丁目

一、二、三等はお好みの一品進呈 大景品 總當 反 着 反 臺 LAUNDOR OF THE Planting Police 規定 10 may 2

整式トニクは共組織に於て一般超過機質機関質時軽関指等の地者を取りたるを対し、最近に対して変に大手を移送過距に現了上端機能溶流は、生)の最近不全、勃起力減退、早〇一等に対して変に他関品で没限せる効力を認めたるを対し、表に本典の原効ある事を推奨す

治量平上月壹日第零組和回恩式會址朝鮮和產組行(經史)

强補紅紅紅

を費・二々は人器、選挙、選挙、日本語の有効成分に「ヴィターミンB 岩石を 選手・二々は人器・選手・日本の国際とのものにして、関係物性「中ルー・デー・「日本・利田監督・「日本・八郎の国際主義など」、 管に生き的は後さら記憶。 ダロー 製菓人器・溶化イ皮、感覚効気・措施を見避せるに特効あり。

官私立病院御用達

六日の番組

價 五十銀 テバートにあ

-

類似名,類似品多心態對トキタは御往節(約年個月分)三四八拾輯等(價)、江首五十五人(約年個月分)三四八拾輯

婦人用晴雨象用洋傘 一 で 緑 の 級 置 時 計一 で

議

络時

電気 柱掛 時計一部 知仙 夜具 蒲圏地一度 又は旅 行用鞄 一品十度をじや折鞄

庭 個

供用自轉車一番紗繪羽羽織一反